



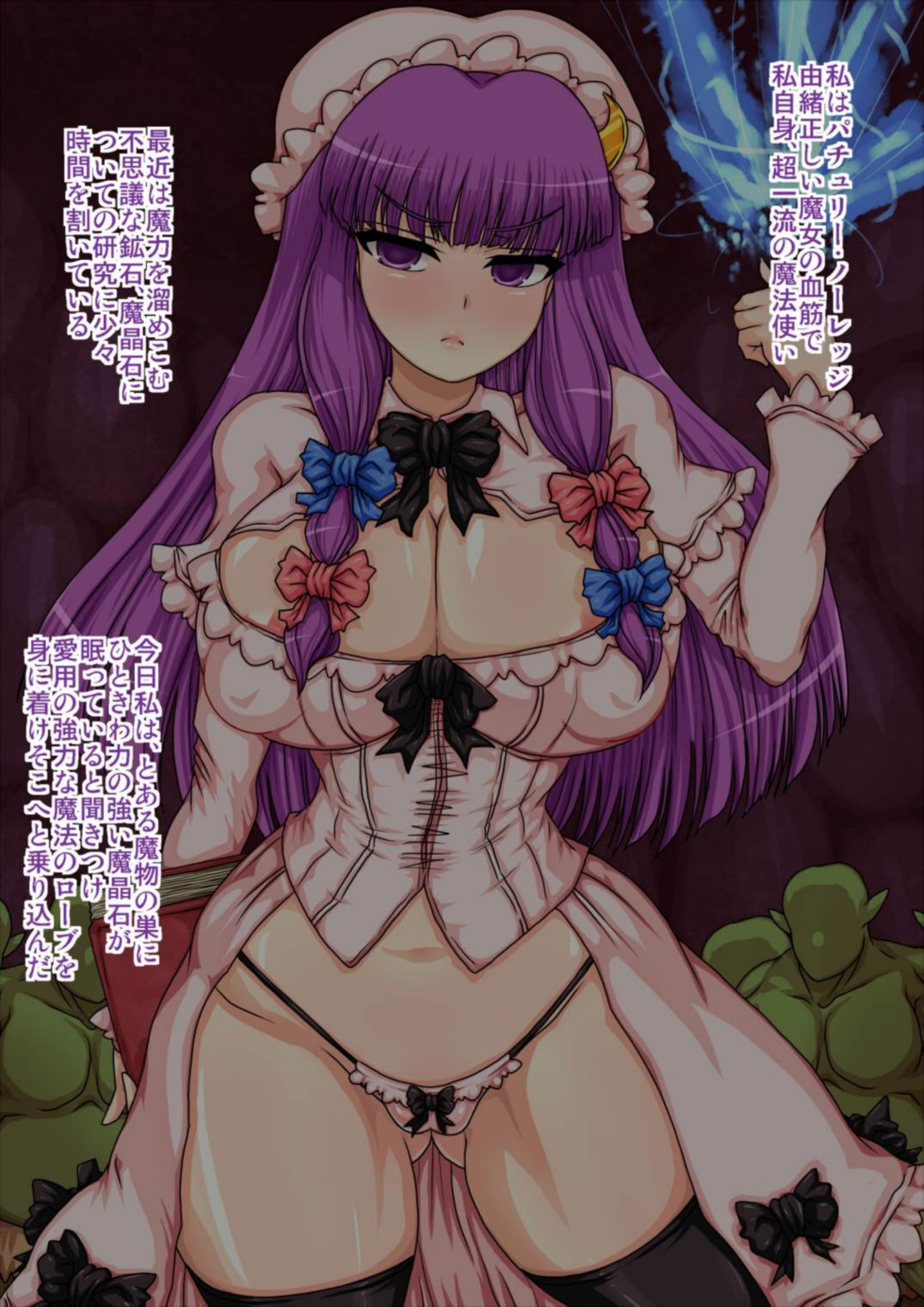
魔物たちに**逆襲**された
ピンクが
犯されイカされ
徹底的に**孕ませ**れまくっちゃう!

も上手く
たじやねえか!

私はパチュリィ・ノーレヅ
由緒正しい魔女の血筋で
私自身、超一流の魔法使い

最近魔法を溜めこむ
不思議な鉱石、魔晶石に
ついでの研究に少々
時間を割いている

今日私は、とある魔物の巢に
ひとときわ力の強い魔晶石が
眠っているの聞きつけ
愛用の強力な魔法のローブを
身に着けそこへと乗り込んだ



ひいいい、ここの女
つええぞ…っ

ほ、本物の
魔女だ…っ

なんて魔力
してやがる…っ

やれやれ、この私を
襲おうだなんて
身の程を知りなさい

無駄な時間を
使わせないで
もらえるかしら

今日はちよつと
精霊の機嫌が悪い
みたいでね

ぐ…っ

ちやんと手加減して
あげられないかも
しれないわよ？



私はあんた達なんぞに
関わってる暇は無いの

…それにしても
この女、
なんてエロい身体
してやがる…っ

みっちり
肉の詰まった
尻にふともも…っ

歩く度に
乳が揺れて…っ！

極上の女が目の前を
通ってるの
指をくわえて
見てるだけなんて、
生殺しだぜ畜生…っ

さっさと道を
開けなさい

へへい！

クワンッ

クワンッ

クワンッ



あら、そこのお前たち
以前私が図書館の掃除のため
召喚した魔物じゃない

ひっ!?

この洞窟が
棲家だったのね

丁度いいわ、
道案内しなさい

この洞窟には
詳しいでしょう?

ええ〜…

ぱ、パチュリー様なら
こんな洞窟くらい…



返事は「イエス」以外
認めてないわ

それとも今すぐ
ここで消し炭に
されたいのかしら？

は、ハイッ！
パチユリー様ッ！

今すぐ道案内させて
頂きますッ！

こちらです！

最初から
そういう態度で
いれば良いのよ

アツッ♡

アツッ♡



私はいつも研究の時
手足が必要な場合は
「現地調達」で済ませている

研究は一人で落ち着いて
行おうが私にスタイルだ
何より他人の存在は大抵
私にとって足まといだ

その点現地調達した下僕は
不要になっただけだし
置いていけばいいから
召喚送還の手間も無くて効率的

!!これこれ
こういう訳だから



魔晶石が見つかったら
研究室へ運ぶのも
手伝って頂戴ね

そうしたら
解放してあげる

へへい
喜んで...

：畜生、自分を
レ×プしようとした
俺らをこき使うなんて
どういう神経してやがる

ああ、あの身体
犯してえ...

そこ、
聞こえてるわよ
死にたいの？



人の良い門番なんかは
こういうやり方は
危ないですよ、なんてよく
言ってくるのだけれど

…これが…

今まで私はこのやり方で
危険を感じたことなんて
これっぽっちも無いし、
紅魔の食客として魔女の恐怖を
知らしめるのも友人の
務めがなく、なんて思ってる

へえ、確かに
凄い力ね

どうしてこんな
洞窟でこんな
強い魔力が…

……

まあレミイ本人の前で
そんな恥ずかしいこと
言ったことはないけどね

でもこの時ばかりは、
門番の言葉の方が
正しいかっただのかもしれない！

ツクッ

…えっ!?

オオオオオ

何、これ…っ!?

…っ!!

まさか…っ!?



！っ

光が治まった時、
私はすぐに
異常に気付いた

しかし私は
それが現実
起こったと
認めるとは
出来なかつた

嘘……？

嘘でしょ、
そんな……

何故なら、
その異常とは……

…ひっひっひっ

どうしたんです、
パチュリー様？

あっ!?

研究の方は
いいんですかい？

ドキッ

くくくく

ぐい!

そんな所で
ポーっと
突っ立って

なっ、
あんたたち…っ



き、気安く
触るんじゃ
ないわよっ！

もしかして：
出来ないんですか？

離しなさいっ！

ひひひ、
離して欲しけりゃ
今までみたい
に魔法でぶっ
飛ばせば
いいじゃない
ですか

そう、あまりに
現実離れして
私が認めること
が出来なかつた
異常とは！

偉大な魔法使いである
この私が、
こんなちっぽけな石に
自慢の魔力を全て
吸い取られてしまつた
ということだつた！

——っ!!!

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ

ぐわっ



ひひひ、
もう我慢出来ねえ

かはっ
あっ!!?

魔法さえ無けりや
お前なんて怖くねえ

むしろ極上の獲物だぜ
パチュリー様よお!

やめっ、
離しなさいっ!

うひょろ
すげえ乳!

あのパチュリーの
生乳首だ!

グロウッ

ウズッ

グニャッ

……っ!!

く…っ、
このカラクリ、
知っていたのねっ!!

ひひひ、
まあこの洞窟に
棲んで長いんでな

だがお前ほどの
魔法使い相手でも
効果があるのかどうか
半信半疑だったが…

ばっちり
力を吸い
取られちまった
みたいだなあ!?

かあ、

ん、

せみ、

せみ
せみ

くう…っ!!!



そう、本来魔晶石は
周囲に魔力を
供給する筈の物

しかしこの石は
逆に周囲から魔力を
奪い取る「逆」魔晶石とも
呼ぶべき代物だったのだ

どうしてこんな
枯れ果てた洞窟に
強力な魔晶石があるのか、
洞窟に入った時に感じた
精霊力の乱れから推理して
この事実を辿りつくことは
私なら出来た筈なのに！

私が危機に陥る
筈など無いと、
完全に油断していた
不覚！っ!!!

今までコケにされた
「お礼」をたっぷり
してやるからな♪





すべすべなのに
手にへばりつくような
瑞々しさで、
最高の揉み心地だぜ♪

あく良
手触りだ♪

やめ...っ、
なさいよっ!

んっ!!
くうっ!!?

んっ!!

アハハ

アハハ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

胸なんて触って...っ、
何か楽しい訳!?

実は触って欲しくて
誘ってたんじゃない
のか、パチュリー?!

そんな、訳つ、
ないでしょっ!!

低俗なお前たちと
一緒にしないでくれる!?

ひひ、楽しいに
決まってる
じゃないか
パチュリー「様」♪

お前こそこんな
いやらしい身体で
こんないやらしい
格好して

これは由緒正しい
魔法のローブで...っ





美味そうな乳首
しやがってよお!

ひひひっ、
どうだか

それなら
身体に
訊いてやるぜ

ああっ!!?

あっ!!?

ムク

ムク

ムク

ムク

ヂルッ

ヂルッ

ヂルッ

ヂルッ



…あつ、くつ、
うああっ！

いけない、
こいつらは、確か…っ！

ひひ、どうだ
パチユリー「様」？

俺らの体液には
メスを発情させる
成分が大量に
含まれてるんだ

…と、これくらい
お前ほど博識な
魔女なら当然
知ってるか

もう先つちよが
気持ち良くて
たまんねえだろ？

……っ！！

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン



ば、バカ 言わないで くれるっ!!?

ダメ、早く やめさせないとっ!!

こ、こんなのっ!

気持ち悪いだけに 決まってるでしょっ!

その割には 乳首ちゃん が どんどん硬く なってきてるぜ?

ひひ、そうかい そうかい

ブルブル

ブル

チル

チル

ブルブル

チル

チル



んっ!!!
そ、そんなのっ!!!

そら
ごしごしごし...

んっ!!!

気持ち良く
ねえってんなら
気持ち良くなるまで
サービスして
やらねえとなあ!?

い、要ら...っ、
んんんんんっ!!!

グッ

ビクッ

ビクッ

グッ

ビクッ

グッ

ビクッ

ビクッ

グッ



あれ〜？
どうしたんですか
パチュリー様〜？

ふっ、くうう…っ

み、見られた…っ、
こんな奴らに…っ

情けなく、き、
気をやってる顔を…っ

まさか
イっちゃった
んですか？

かあぁ

俺たちみたいなの
三下に責められて？

まさかパチュリー様ほどの
高貴な魔女様がそんなこと
ある訳ないですよねえ？

恥ずかしすぎる…っ！！

う、うるさいっ！

いい加減にしないと、
消し飛ばすわよっ！！

おお怖い怖い、
へっへっへっ

プル
プル

プル

ムキッ

ムキッ

プル

プル
プル

ムキッ

そくら、
パチュリー様の
デカパイパイズリだ♪

はく柔らかかくって、
ハリがあつて、
きんもちいい♪

くっ、こんな……っ

魔物たちは私が魔法を
使えないと確信するや、
ささやかな抵抗すら
出来ないう両手を縛り
その醜い欲望を私の身体に
躊躇なく注ぎ始めた

ギョッ

ギョッ

ブル

ブルブル

ニョホッ

ニョッ

ムッ

ムッ

ニョホッ

汚らわしいっ!

そんな醜いモノを
擦りつけるんじや
ないわよっ!!!

魔力さえ戻れば
こんな奴ら一瞬で
片づけてやれるのに……っ!!!



こんななに
乳首を硬くして
何言ってやがる

あっ!?

やつ、こいつらの
媚薬体液で
敏感にされた乳首つ、
不意討ちで
つねられたら：っ!!!

あっ、あああっ♡

おっ、何だ
カワイイ声も
出せるんじやねえか
パチユリー♪

ふ、ふざけ、
あああっ♡

ムシッ
ムシッ

ムシッ
ムシッ

ギョッ
ギョッ

ムシッ
ムシッ

ムシッ
ムシッ

ムシッ
ムシッ

ムシッ
ムシッ

ムシッ
ムシッ

ひひひ、どうだ
ピンピンに
勃起した乳首
ぐにぐにされるの
たまんねえだろ

ふっ、くうっ!!

い、今のはっ!
いきなりでっ、
びっくりした、
だけよっ!

何よ今の…っ、
頭の芯が、痺れ…っ!!!

くく、素直じゃ
ねえなあ?

やせ我慢は
身体に毒だぜ?

くっ、ううっ、
ふううっ!!!

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

ぞっ

あくそれにしても
気持ちよすぎて腰が
勝手に動いちやうぜ

なっ、あっ!!

は、激し…っ!!

さつきからコイツ、
人の胸を
オモチャみたいになっ!!

なあパチュリー
パイズリで
出しちゃって
いいか?

は、はああっ!?

だ、出すって…っ!
ダメに決まってる
でしょうっ!!

こんな体勢で、
だ、出されたり
したら…っ!!

そうは
言ってもなあ

ニホッ
ニホッ
ニホッ



こんな極上の爆乳で
チンコ擦られたら
我慢なんて出来ねえよ

これは、あんたが
私の身体を使って
勝手にやってる
ことでしょっ!!?

ば...っ!!

ここのまま
出してみなさいっ!!?
一生呪ってやるわよっ!!

ああ止まんねえ
気持ち良すぎるぜ

バカっ、
やめなさいっ!
やめ...っ!!

嫌っ、嫌あっ!!



うおお出るぞ
パチユリーッ!

んっ!!

圧倒的格上の
魔女の爆乳レイプして
ザーメン出るッ!

んんんんっ!!

最悪...っ!!!



ふーっ、
気持ち良かったぜ
パチュリー

あくあく、
せつかくの美貌が
台無しだぜ
パチュリー様？

誰の、せいだと！っ!!!

ぐ……っ

酷いにおい……っ、
顔に……こんな……っ！
許せない……っ!!!

ひひ、そんな顔で
睨まれても
心地よいだけだぜ
パチュリー？

ははは、
パチュリー様の
お顔がザーメン
まみれだ

なんて、屈辱……っ!!!

アッ!

アッ!

ブル

ブルブル

ブルブル

キッ

ブル

ドッ

く……っ

くにくに

くにくに

きゃっ!?

さくってお次は
パチュリー様の
オマンコ公開ショー
といくか!

嫌あつ!!

かば

ひひ、偉大な
魔女様のマンコが
どうなってるのか
ばっちり目に
焼き付けてやるぜ

ケツも
ぶりぶりしてて
可愛い♪

やっ!
見るなっ!

やめなさいよ
変態共っ!

ぐん

おん

びい

ぷん

クン

ぐい



ひひ、こんな
エロい身体して
何言ってるやがる

恥ずかし
がってる顔も
そそるぜ♪

本当は男を
誘ってるんだろ、
この身体で♪

くっ!

恥ずかしすぎて、
顔から火が出そう...

でもそんなの表に出したら
こいつらを喜ばせるだけ!

そんな訳
ないでしょっ!

こんなの平気
平気なんだから...っ!

私は平静を装うため
必死で自分に
そう言い聞かせた

勝手に
都合の良い解釈
してるんじや...

じたばた

もっ

かあ

もっ

もっ

じたばた

もっ

もっ



びびり

おっ?
何だマンコから
何か垂れてねえか

なっ、えっ!?

ドキッ

おいおいもしかして
乳を犯されて
パチューリ様マンコ
濡らしてたのかよ

全く本当に
エロい女だな
パチューリ様は♪

ち、違うっ!
これは、あ、あんたらの
唾液で身体がおかしく
されたからで...っ!

じ、じろじろ
見るなあ!

キッ

タン

プルプル

ふひひ、
人のせいにするのは
良くねえなあ？

ひひ、恥丘も
ぶにぶにして
良い触り心地♪

あっ!!?

な、何を
する気!!?

じゃあ
本当に俺たちの
せいなのか
確かめてやるぜ

や、やめなさい、
やめ…





そりゃあもちろん♪

んあぁっ!!!

んあぁっ!!!

あぁあぁっ!!!

む、胸をつ、舐められただけで
身体中が熱くおかしくなつてたのにっ!!!

こんな所つ、直接舐められたらっ!!!

あぁあぁっ!!!

おっおっすげえ反応

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクッ

ビクッ
ビクッ
ビクッ

ビクッ

ビクッ

んあぁっ!!!

ビクッ

ビクッ



はっ!!!
ああっ!!!

あああっ!!!

ひひ、マンコの
ひだを一舐めする度に
すげーびくびくしてゝる♪

こんなに激しく
反応するってことは
確かに俺たちのせい
だったのかもなあ？

そう……っ、
言……ってっ！

だっ！
だからっ！

でも普通の女は
こんなに激しく
反応しないぜ

もうちよっと
確かめる
必要があるな♪

……っ!!

ぐっ
ぐっ
ぐっ

ぐっ
ぐっ

ぷんっ
ぷんっ

ぐっ
ぐっ

ぷんっ
ぷんっ
ぷんっ

ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ

ぐっ
ぐっ



ひ、はっ♡

ああっ!!

あくうめえ

一日中だって
舐め続けて
いられそうだけ
パチユリー様♪

ふっ、ふざ、け!!
な、あ、あっ♡

ゆ、ゆるさっ!

あっ♡

ぜっ、絶対、にっ
け、消し炭っ、
にいいっ♡

ひひひ、
声が甘く上ずって
きちゃってます…ぜ!

ひあっ!?

そ、そんな激しくっ!?
先を尖らせた舌で
ひだひだ擦られたらあっ!!!

あ、あ、あっ♡

あああああっ♡

ひひ、パチユリー様
またイっちゃった

イキ顔
可愛い♪

こんな奴らに
良いようにされて…っ、
なんて屈辱!っ!!!





そろそろ
メインディッシュを
頂くとするか

やめなさいっ!!

な...っ、
やめっ!!

くっ、さっきので
足腰が抜けて
力が入らないっ

いい加減に
しないと、
本当に...っ!!

ひひ、流石の大魔女も
下等な魔物にチンポ
ぶち込まれるのは
怖いかよ?

さして

あっ!?

図に乗るのも
大概に
しなさいっ!

単に
汚らわしい
だけよっ!!

ブル
ブル
ブル

ブル

ブル
ブル

ブル

ブル
ブル



あんな何時間も舐められたら誰だって...

物欲しそうにつつましやかにヒクヒクしてて、上の口とは大違いだな♪

そ、それは...

デカイ態度の割にや生娘みたいがちっちゃくて綺麗な可愛いマンコだよ

はは、おこわ

その割にマンコの方はもう待ちきれないって感じだけどなあ〜?

くうっ

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふんふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ポタ

ポタ

ブルブル

ブル



えっ、あっ!!

あああ
あああ
あああ
!!!

こんなエロい穴で
催促されちゃ
こっちも
もう限界だぜ!

おっ、クリが
飛びだしたよ



パチュリー様ほどの偉大な魔女様がまさか処女だったとはねえ〜

っ! ひよっとしてパチュリー様、処女だったんですか〜?

お? オイオイ、何だ血が...

う、ああ...

こ、こんな、奴らに...!!!

ああ...っ

最低、最悪...!!!

ひひ、パチュリー様の初めての男になっちゃったよ俺♪

グッ

ブルブル

ブルブル

ブル

ブル

ブル

ブルブル

ブル

…ぜ、絶対に、許さない…っ!!

ん？

お、お前たちは一思いに消し飛ばしてなんかやらないわ…っ

ま、魔力が戻ったら、こんな…っ!!

こんな、ことをっ！私にしたことをっ、一生後悔させてやるっ!!

死ぬより苦しい目に遭わせてやるんだからっ！

覚悟なさいっ!!





魔力が戻れば、絶対……あああつ!!!

チンポ突っ込まれながら生意気言ってるんじゃないよっ!

どうやらまだ自分の立場が分かってねえようだなっ!

やめっ、あああつ!!

身体に直接教えてやるぜ!

ああああつ!!!

激……



あゝ
キツキツなのに
トロトロで、
良い締めりだぜ
パチユリー？

ば、馬鹿っ、
言ってるんじや
ないわよっ!!

お前も激しく
突かれて
悦んでる
みたいだな？

こっ、こんなの！
気分が悪く
なるだけ…っ!!

あ、あつ♡

あつ♡

くっ、あつ!!

とっとなさ…っ、
抜きなさいっ!!

あああつ!!

ひひ、早く
抜けてか

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ

アツ



たっぶり濃いの出してやるから楽しんでしとけよ!

だ、出すって...っはああっ!?!

いいぜお望み通り抜かせてもらおうぜパチュリーっ!

お前の中が気持ちよすぎてさつきから腰が止まらねえんだ

わ、私の中にお前みたいなの下等な魔物がっ!!

そ、そんなこと許されると思ってる訳っ!?

ぜ、絶対...っ、ダメ...っ!!



もっと腰を振れば
チンポが抜けて
中出しされずに済む
かもしれないぜ!!

ひひ、
嫌ならもう少し
嫌がってみせろよ!

あ、あつ♡

さ、さ、さ、
激しくっ!!!

あ、あつ♡

あ、あ、あ、あつ♡

ひひひ、
無我夢中で
尻振っちゃって
可愛い♪

あれじゃ腰
使ってるようにしか
見えねえな♪



嫌あああ...っ!!!

大量のこってり
ザーメン
プレゼントだっ!

嫌っ嫌っ!!

うおおっ、
出すぞ
パチユリッ!

ひうっ ♡

くぅぅぅぅぅぅぅ ♡

ううっ

ズル
ズル

ズル

ズル

ズル

ズル

ズル



ひひ、ちっちゃなマンコからザーメン溢れてる

圧倒的格上の魔法使いのマンコにザーメンマーキング気持ちいい♪

こんな、奴らに…っ

あああ…

嘘、嘘よ… この私が、そんな…っ

…ふふ、出したた！

よし次は俺が相手してもらおうか

パチュリーほどの極上の女相手じゃ尚更だぜ♪

ああ…っ

あ、ああ… あああ…

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ほあ

タッ

ぽん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ふん

ドロン

そらっ！皆に俺らが合体してる所よく見えるようにしてやろうぜ！

くっ!!

くうっ!!?

かば

おい良いねえ
良い眺めだ♪

ちっちなマンコが
でけえチンポを
必死で啜えてるのが
良く見える♪

くううう...

恥ずかしいっ!!!

い、入れたままっ、
そんなう、
動かすんじや
ないわよ...っ!!

あっ!!!

中の、ね、
粘膜が
擦れて...っ!!!

ぞし、

ぞし、

ずっ♡

ずっ♡

グッ

ぞし、

ぐんぐん

ぞし、

あはっ

ひいっ



何〜？
激しく動いて
欲しいって？

だ、誰も
そんなこと
言って…っ!!

あぁあぁっ♡

身じろぎつ、
すると余計に…っ!!

んはあぁっ♡

全く、しょうがねえ
エロメスだな
パチユリーは♪

ひひ、この体勢だと
マンコに体重かかって
たまんねえだろ♪

ブ
ブ
ブ

ム
ム
ム

ム、

ア
ア
ア

ブ
ブ
ブ



そらそら！
お望み通り激しく
突いてやるぜ！

ははは、
乳がすげー
ぶるんぶるん
揺れてるぜ

んあつ！！

あつ♡

ああああつ！！

見るよ、
膨らんだクリが
ぶらぶら
動いちやってるぜ
可愛い〜♪

やああつ！！
言うなああつ！！

あああつ！！

恥すかしすか〜



ギャラリーの声援に
応えてやるには
随分余裕あるな
パチュリーー？

ふっぐっ ♡

ぐうっ ♡

ふううっ ♡

こりやもうちよつと
激しくして
やらねえと、なっ！

し、子宮がっ
押し潰されっ！！

んううっ！！

そろら子宮口と
チンポで
熱いキッスだ！

~~~~~  
っ！！



ああたまんねえ  
もう出そうだけ  
パチユリー

くひっ♡

い、嫌っ!!

自分でマン肉  
チンポに擦り付けるの  
病み付きにな  
つちやったか?  
ハッハッハッ!

ち、ちがっ、  
ひっ♡

ぬっ、抜けっ、  
抜けえっ!!

おっ、何だ  
また腰使  
やがって

そんな訳...!!

ズン  
ズン  
ズン  
ズン  
ズン

ヒッ  
ヒッ  
ヒッ

グニャ  
グニャ  
グニャ

グニャ  
グニャ

ズン  
ズン  
ズン  
ズン



お望み通り  
一番奥まで  
注いでやるぜ  
パチユリー様よお!

んあっ♡

魔物の汚らしい精液が……つ!!!  
私の一番大事な場所を  
こじ開けて入ってくるうう……つ!!!

嫌ああ……つ!!!

ひひひ、もう  
見てるだけで  
暴発しそうだぜ

次は俺だ!  
早く代われ!

その次は  
俺だからな!

あっ♡

ああああ……つ!!!

それから私は  
魔物たちに次から次へと  
犯され続け

あ...  
あが...っ、あっ

あ、あがああ...っ

一体何人に、何回犯されたのか、  
何時間犯されていたのか、  
まるで分からなくなつた頃  
ようやく一度解放された

ふーっ、  
出した出した

もう金タマ  
カラカラだぜ

あっ

もう何週したのか  
分かんねえな







こ、腰……下半身が……  
痺れて、動けな……

あ、あつ

ああ……つ

魔物たちが油断してる、  
今がチャンスなの……

ムク

ビキッ

ムク

ムク

ビキッ

ド

ゴ

ムクムク

ムク

ひひ、どうだったよ  
パチユリー初めての  
セックスの味は？

感想  
言ってみろよ、  
はははは

んほおおっ

おっ、おほっ

おおっ

そっ、そこおっ

ひっ、引っ張るっ、  
なああっ

あああっ

勃起したクリ  
ピクピク  
させてるだけじゃ  
分かんねーぞ？





何だ、引張っちゃダメなのか？

弄って欲しがってるように見えただがなあ？

じゃあ突っついてみよう

アッ/アッ  
アッ/アッ  
アッ/アッ

んおおおっ♡  
おほっ♡

おおおおっ♡

M  
W

M  
W



ははは、  
すげービクビク  
してる

ちっつ、  
ちがああっ♡

あっ♡

パチュリー様は  
クリを引っ張られながら  
マッサージされるのが  
好きなようだ♪

さ、触るなってっ!!  
言ってるのよおっ!!

あ、ああああっ♡

や、やめっ!!  
ああああっ♡

ムク  
ムク

グッ

ムク

グッ  
グッ

スリ  
スリ

ジュッ  
ジュッ

ジュッ  
ジュッ

ムク  
ガッ  
ガッ

ムク

ガッ

ガッ  
ガッ



ひ、人がっ！  
イカされてるとこ見て  
笑ってるんじゃ  
ないわよっ！！

いい加減に  
しなさい…  
んはああっ♡

何がそんなに  
面白い訳っ!?!

ほくれ、  
スリスリ

ムク  
ムク

スリ  
スリ

キリッ

スリ  
スリ

ムク

ブル

ブル  
ブル  
ブル

ブル  
ブル

ムク

ムク  
ムク



はああっ♡

あああっ♡  
あ、ああっ♡

あっ♡  
あああっ♡

し、刺激が  
強すぎて…っ!!

何も  
考えられないっ!!

パチュリー様の  
いやらしい突起を  
あげまして  
あげましょうね♪

M" L" ♪

M" L" ♪

M" L" ♪

ゴシッ

ゴシッ

ジュッ

ゴシッ

ジュッ

M" L" ♪

M" L" ♪

M" L" ♪

M" L" ♪  
M" L" ♪

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ



はは、  
やつぱり  
イッぱり

気持ちいいとこ  
触ってやったらすぐ  
ピクピク反応するから  
すげー分かりやすい♪

へへ、俺にも  
やらせてくれよ

悔しいっつ!!  
こんな奴らに  
オモチャにされてっ!!

俺にも!

何も出来ないなんてっ!!

ひぐうううっ♡

ひっ♡  
ひぐっ♡

パチュリー様  
イカせるの  
面白いぜ

こんだけ痙攣してりや  
そろそろイきそうだ  
なっつと!

M' M' M'

ギョッ

ギョッ

ニッ  
アッ  
アッ

M' M' M'

M' M' M'

M' M' M'

M' M' M'

M' M' M'

それから私は  
散々股間を  
弄ばれ...



だ、誰の、  
せいで...っ!!!

シヨンペンも  
綺麗なアーチ描いて  
お上品だな、はははは

恥ずかし...  
すぎる...っ!!!



おわっ、パチュリー様  
漏らしちゃった

オイオイ、  
大魔法使いの  
パチュリー様とも  
あろう者が、  
人前でお漏らしとか  
はははこりや傑作だ

パチュリー様の  
オシッコ姿を  
見るなんて  
感激だなく♪

こいつら絶対  
許さな...っ!!!

ふっ♡  
くっ、ううう...っ

じろろろろ

ううう...っ



おいパチユリー、  
そろそろお遊びは  
終わりだぜ



んはあぁっ♡

「いいもの」やるから  
さっさと起きろ

いいいい  
ものっ...っ  
あああぁっ♡♡  
ダメえっ♡

ふああぁっ♡

何より、こんなことで  
簡単によがらされてしまう  
自分が不甲斐なくて  
腹が立つっ♡



オラもっと  
股開け

離しなさいっ!!

く...っ

パチュリーは  
下品なガニ股姿も  
超可愛いな♪

ふざけないで  
くれるっ!?

無理やり  
させておいて...っ

それとも分かって  
とぼけてるのか、  
まあどっちでもいいが...

これ以上  
何をしようって  
いうのよっ!

ヒヒ、流石の  
パチュリーも  
「こっち」の知識は  
それほどでも  
ないのかな?



すぐに分かる  
ことだしな!

んあっ!?

何、この感触…っ、  
何か入れられてる…っ!?

私の、拳くらいもある、  
ざらざらした木の実  
みたいなの…っ

これっ、まさか…っ!!!

ふあっ♡  
あっ!!!

あああっ♡

グニ  
グニ

ブルルリ

ブルルリ

グニ  
グニ

グニ  
グニ

グニ  
グニ

グニ

グニ

グニ

グニ



チツ、  
あんだけハメて  
拡げてやったのに  
マンコが小さくて  
なかなか上手く  
入らねえな

おっ、やっぱ  
知識の魔女を  
名乗るだけはあるな  
察しがついたか

あっ、あっ♡

わ、私を...っ、  
「使おう」だ  
なんて...っ!!

や、やめなさい...っ、  
これ...っ!

あああっ♡

あっ♡

よし、全部  
入ったぞ

ぞしっ

ぞしっ

ぞしっ

アッ

アッ

ふい

ふい

グッ

グッ

ブルブル

ブルブル

ブル

ブル

くっ、これっ、  
あんたらの…っ！

ひひひ、  
その通り

俺たちは  
男しかいない  
種族なんでなあ

異種族のメスを  
捕まえて繁殖に  
利用するんだ

で、異種族のメスが  
俺らの精液で  
孕むようにするために…



使ってるのが  
コイツって訳だ！

あつ、ああつ！！

中に入れられた  
「実」が孵つて目撃！！

ああああつ♡

私の中いっばいに  
広がってる目撃！！



あ、ああ、  
あああ……っ

ひひ、がちり  
へぱり付いた  
みたいだな

知識はあっても  
実物を見るのは  
初めてか？

ひひひ、当然  
まさか自分がコイツを  
挿入されるなんて  
夢にも思わなかった  
だろうなあ？

コイツの出す妖気と  
発情粘液がお前のメス穴を  
トロットロの繁殖用に  
生まれ変わらせて  
くれるからな♪

ふっ、  
ふざけないで  
くれるっ!?

こっつ、この私をつ!!  
お前たちみたいなの  
低俗な魔物の  
は、繁殖用だなんて……っ!!

ヒヒヒ、種付できる  
ようになるまで  
一週間はかかるからな

その日を今から  
楽しみにしてくれよ、  
パチュリー「様」♪

……っ!!

ブル

ブル  
ブル  
ブル

ビキッ♡

ビキッ♡

ブチュルッ♡

ムッ

ブチュルッ♡

ムッ

ブチュルッ♡

魔物たちは私の股間に  
棲みつかせるといって  
洞窟の奥の部屋へと  
放り込んでしまったかへ  
行っ

うっ、あっ

ブグ

ム、ム、ム

フ、フ

ム、ム、ム

あっ

ブグ

これは脱出のため  
またと無いチャンス！  
……なのだけれど……







うくっ、ふっ  
ううう...っ♡

んんん...!!

ひ、人のっ、  
弱いとこで好き勝手  
暴れてくれちゃって...っ!!

何よりも、  
股間にへばりついたこの  
意志を持つ媚薬粘液の  
塊をひきはがさないこと  
どうにも...っ

くうっ♡

ふっ♡

ブルブル  
ブルブル  
ブルブル

ブルブル  
ブルブル

ブルブル

ブル

ブルブル



んんんっ♡

んんんんっ♡

でも……っ、  
こいつは私が少しでも  
抵抗のそぶりを見せると……

ひんっ♡

そこ……っ、  
ダメえ……っ♡

ひっ♡

んひっ♡

ここっの粘液で  
すっのり開発され  
たの敏感にほじ  
りかたを確ら  
すっの中を抜  
けてしまっ  
たの力が抜  
けてしまっ  
たの単純に

そっ、そっ♡  
お尻……ひんっ♡

グッ  
グッ

グッ  
グッ

グッ

ほい  
ほい♡

ほい  
ほい♡

ほい♡

属性魔法のエキスパートとして  
敵の弱点を突く戦い方を  
得意とする私に、  
こんな奴に弱さを把握され、  
動きを封じられてるなんて  
人一倍屈辱!!!

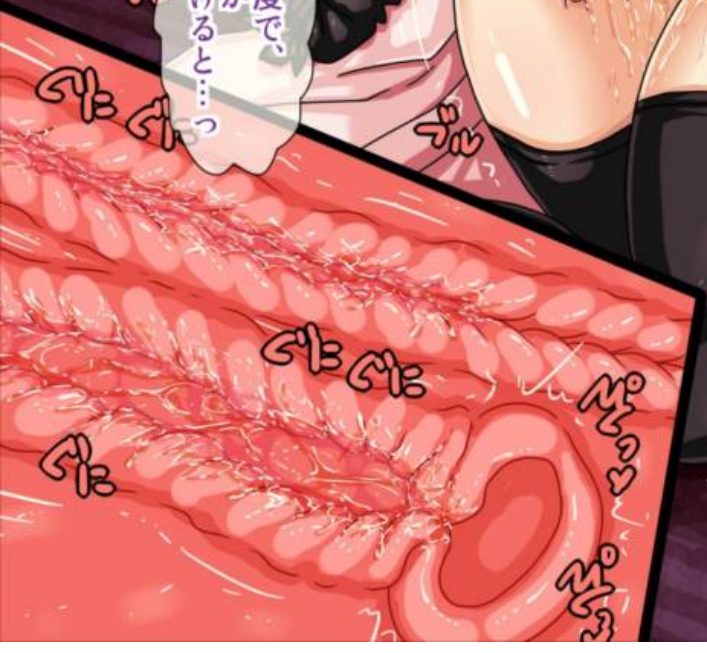
くっ、くっ、くっ♡

んっ…!!!

いつまでも、  
す、好き放題  
出来ると思ったら  
大間違いよ…!!!

この程度で、  
この私が  
音を上げると…っ

それでも私は諦めず、  
股間からスライムを  
引き抜くべく  
手を伸ばしたけれど…





あああつ♡

私の意図を察したのか  
それとも単なる偶然か...

クリっ♡  
ダメええっ♡

ああああつ♡

私が再び挑戦しようとした瞬間  
スライムは私の最も敏感な急所を  
ぐいっ、とひねり上げたのだ

んあああつ♡

ビクッ  
ビクッ  
ビクッ

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡

んはっ♡



意志とは関係無く  
腰が跳ねて  
まるで手にも  
力が入らない

どうなのさやうと  
もう無理……

あああ〜っ

ガツ

ふああっ

しかもこの場所はそれで、  
動きを緩めるどころか、  
私の反応に気をよす  
私を包んだ粘液を、  
私の中に潜り込んだり、  
さらさらと動き始め

あああ〜っ

あ〜っ

あ〜っ

あ〜っ





また為す術なく  
イカされた！っ

また  
イっちゃうううっ♡

ふうううううっ♡

悔しい、  
こんな奴に！っ！！

い、いくっ♡♡

まじまじ

まじまじ

まじまじ

まじまじ

びびび

びびび

びびび

びびび

びびび

数時間後...

は、早く何とか  
しないとっ♡

おまんこっ♡  
お、おかしく  
されちゃうのになっ♡

ふひっ♡

あんな奴らの  
繁殖用に  
されちゃう  
のになっ♡

結局私はいつまで経っても  
こいつを引きはがすことが出来ず、  
ただただ無意味をお尻を  
振り続けていただけだった...

ふうふううんっ♡

ふ、ふうふう♡

ふうふううんっ♡

ガッ

ガッ

ブルブル

ちゅ

かっ

かっ

ちゅ

かっ

かっ

ふっ♡

ブルブル

ブルブル

ブルブル



オラッ、  
パチュリーを  
俺様のチンプを  
しゃぶれ!

んっ!  
んっ!  
んっ!

どつやら昨日はあの後  
食糧調達に出でいたらしい

翌日、戻ってきた  
魔物たちは宴会の席に  
私を連れ出した

ブルブル

ブルブル

ふひひ、一仕事  
終わった最後の  
フェラは最高だな

んううっ!!

ぐい  
ぐい

ぐい

ぐい

ぐい

それがパチュリーの  
ものなら尚更だ!

んんっ!

酷いにおい、味  
形、最悪っ!!!





ひひ、あのパチュリーが俺たちみたいな下等な魔物のチンポをしゃぶってるなんて凄い光景だな

パチュリー様、こっち見て下さいよ、ははは

こげつらあ...調子を壊して...!!

んぐっ!!

むうっ!!

私は屈辱と怒りに頭がくらくらしそうになるのだからうじて押しとどめた

今は耐えて、油断させておくしかない...石に吸われた魔力が一回復さえずればこんな奴ら一網打尽なんだから...!!

ひひひ どうだパチュリー これがお前のチンポをほじってた

丹念にお口でマッサージしてくれよな

んむっ!





おいパチユリー、マンコ  
弄られて気持ちいいからって  
フェラをサボるんじゃねーぞ

んぐううっ♡

もつと喉の  
奥まで使って  
チンポにご奉仕  
するんだよ!

んんっ♡  
んぐうううっ♡

や、やばっ、  
今ので、コイツの  
先走り汁が、  
喉に...

んんんんっ♡

こいつらの体液、  
超強力な媚薬なのにっ!!!

そうそう、やれば  
できるじゃねーか!





ああいいぞ、  
出る出るっ!!

ウツ、ウツ、ウツ  
回の中で...!!

信じられない、  
最悪...!!

んんんっ!!

んんんっ!!

んんんっ!!

ぐいぐい

んんんっ!!

んんんっ!!

んんんっ!!

んんんっ!!

どうだ、俺の  
ザーメンの味は？

く、ぐう……っ

ひひ、  
良かったぜ  
パチュリー

それが逆にこの綺麗なお口で  
男の一物を啜えることになるなんて  
考えたこともなかった、って感じで  
最高にそそるんだよな〜♪

まあ正直言って  
フェラ自体は  
へったくそ  
だったけどよ

MSA GAMES





そいつはじっくり  
味わって、それから  
飲みこむんだ

ブルッ  
こんなもの、今すぐ  
吐き出して...っ!

おっと、ザーメン  
吐き出すんじゃないぞ

はあ!?  
これって何言ってる...!!

分かったな?

...っ!?

ブル  
ブル

ブル  
ブルッ

ブル

ブル  
ブル

ブル

……くうっ!!

もうそんな時間に  
時間の猶予が無いなら  
ここはこいつらを  
油断させるためにも  
素直に従っておくしか……

おお!  
あ、あのパチュリーが  
大人しく  
ザーメン飲んで……!

てつきり  
抵抗するかと思ったが  
案外素直じゃねーか  
パチュリー?

一晩中スライムに  
可愛がられて  
考えが改まったか  
ハッハッハッ!

うう、酷い味……  
喉越しも最悪……



でも今は...耐えなきゃ...

プルプル

んううう...っ

お、俺もフェラしろ  
パチュリーっ!

俺もだ!

その日はその後、  
一日中  
回での奉仕を強制され...

魔物たちが容赦無く  
回内に出した精液は  
当然のように  
全て飲まされ続けた...

んううう...っ





それから数日の間  
私の精神が軋むような  
努力の甲斐あって  
魔物たちは  
完全に油断していた

ふっ♡  
ううっ♡

見張りも置かず  
食糧調達へと  
毎日のように  
出払ってしま

うの...♡

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ううっ♡

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

それでも  
私はいまだに  
脱出できずにいた



何とか引きはがそうとしても、魔法の使えない今の私ではそんなことすら出来ず！

昨日、一昨日とせつかくのチャンスはこいつとひたすら格闘し、イカされ悶えさせられているだけで成果無く終わってしまった

魔物たちの口ぶりから察するに恐らく今日が脱出の最後のチャンス！

私は意を決し、こいつを引きはがすのは後に回し、このままで洞窟からの脱出を試みることにした

この洞窟から出てあの魔石の影響下から逃れればきつと魔力も回復するはず！

そうすればこんな下等なスライムなど一瞬で消し去つてやれる！っ！

ううっ♡

くうううっ♡

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

ブルブル

フッ フッ

くっ♡

アッ♡

オ

股間からの刺激は相変わらず  
たまたまなく全身を  
駆け抜けるけれど、  
これなら少しづつ進める、  
魔物のたちが戻ってくるまでに  
魔石の有効範囲から出られる……っ！

そう私が  
思った瞬間……

んあっ!?

あああっ♡

あああああ  
あああっ♡

それまで伸ばした先端で  
私の中をクチュクチュ  
かき混ぜるだけだった  
そいつが、  
新たな行動に出た



ひっ、ふっ、  
太い…っ!!

やめ…っ!!

そいつは私の中に  
入った部分を膨らませ、  
硬化させ…まるで…  
ペニスを挿入している  
ような形に…してきたのだ

そんなっ、  
何する  
つもり…っ!!

今までこんなこと  
してこなかったのに、  
どうして  
今回に限って…っ!!





ちよつと足を動かすだけでも  
私の中でツレが擦れて、  
その形を強烈に意識してしまう

ふっ♡  
ぐわんぐわん♡

でも、  
これ、  
くらい...♡

でっ♡

それでも私は  
自分を鼓舞して  
何とか前へと進もうと...

ブル

ブルブル

ぐわん

ぐわん

ぐわん

ぐわん

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ

日したのだ、けれど！

んおっ ♡

おおおっ ♡

んおおおっ ♡

中に挿入された  
その張り型を  
今後は勢いよく引き抜かれ、  
たまたま全身が  
脱力してしまおう！っ

ままか  
のままー





ふぐううっ♡

や、やめっ♡

ふっ♡

んううっ♡

嫌な予感ほどよく当たるもので、私が予想した通り、スライムはそのまま激しいピストン運動を開始した

こんなおきたら、歩くことはおろか、立って居ることすら...

ムムム

しかも私の中は、  
こいつの粘液で今まで  
何日もかけて散々ほぐされ  
開発されていてっ！！

毎日飲まされた  
魔物たちのせいで精液の  
媚薬作用で全身凄く  
敏感になっでっ！！

すご…っ♡

んおっ♡  
おおっ♡

んおおっ♡

おほおっ♡

おおおっ♡

ウツよっ、  
こんな下等生物に責められて  
私がこんなっ！！





ふぐうっ♡

もう、限界！っ！！

ふっ、うっ♡  
うううっ♡

ビク  
ビク  
ビク

結局私は  
情けなくもイカされ、  
その場に崩れ落ちて！

くううううんっ♡

ガッ

ガッ  
ガッ

そのまま、魔物たちが  
帰ってくるまで  
立ちあがることすら  
出来なかった！

ガッ

ズッ♡

ズッ♡

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ



その夜！

ああ、はあっ♡

はあ、はあっ♡

激しいピストン運動は  
治まったけれど  
今度はまるで焦らすように  
ゆっくりと中をかき混ぜられて！

ダメ…っ、  
そんな…っ♡

はああっ♡

腰が、じんじん  
痺れて…っ

勝手に動いちゃう…っ、  
熱くて蕩けて、砕けて  
しまおう…っ

あっ♡

ぞしっ

ぞしっ

ぞしっ

ふーいっ

カッ  
カッ

ブチュ  
ブチュ

ブチュ

ブチュ

カッ

カッ

カッ

カッ

カッ





ビク...

いくっ♡

ビク...

あつ、いくっ♡  
いくっ♡

ビク  
ビク...

ギョウ...

ふろふろふろふろ♡

ガク

ガク

またっ、  
イカされちゃう...っ!!

ガク  
ガク

グッ  
グッ  
グッ

ガク

ガク

ガク  
ガク

こんな奴に  
良いようにされて、  
悔しいっ!!  
ガク

それに何だか、今日は快感が一段と強くなって、いるようなのが恐ろしい！

このスライムは、繁殖用に私の身体を、作り変えているというけれど...

この異様な快楽も、その副産物なのかしら...?

う、動いちゃ...

んああっ♡

うあっ♡

ま、またあっ!!

だ、ダメっ!!  
今ピストン  
されたら...っ!!

ブルッ

ブルブル...

むにゅっ

ブル  
ブル

がしっ

ズッ  
ズッ

ブル

ブル

ブル

ズッ  
ズッ  
ズッ

ブル

まともに動かない手で  
必死にスライムの張り型を  
押しとどめるも  
中に入ったままの先っぽは  
私の入り口をぐりぐりと  
執ようにかき回す

あつ、あつ  
あつ♡♡

あつ♡♡  
ダメ♡♡

こんなの、  
ダメえっ♡

すごっ  
あつ♡♡

いつしか、手が勝手に...

ダメっ、流されちゃっつ!!!  
理性を、自分を強く持ってっ!!!

あああつ♡

今まで散々焦らされていた  
せいで、こんなのされたら  
奥を激しく突いて欲しいと  
私の中の浅ましい部分が  
全身に要求してくる!!!



そのスライムの様子を見るにもう「完成」したみたいだな、ひひひ

み、見られてた！っ!?  
こんな、無様な姿！っ!!

んいつ!?

そっ、  
そんなことっ、  
してないっ!!

随分一人で盛り上がったんじゃないか

魔物の巢に囚われて、  
天才魔法使いの  
パチュリー様のすることが  
まさかオナニーとはねえ?

こっ、これは  
動かせないように！っ

ドキッ

グキョ  
グキョ  
グキョ

ブルブル

ギョッ

ブル

ブル

ブル

へへ、何言ってやがる  
自分で動かしてたじゃ  
ねえか、こうやってよ!

んはっ♡

んはああああっ♡

やつ、やめっ♡

ああああああっ♡

乱暴で力任せに  
股間をかき回され  
凄まじいほどの  
快感が弾けるっ!!!

今までのぎこちない  
動きとは全然違うっ





びゅ  
びゅ  
びゅ

びゅ

ちゅ

びゅ

びゅ

びゅ

ふんふっ♡♡  
ふううっ♡♡

ちゅ

びゅ

びゅ

ふんふっ♡♡  
ふううっ♡♡

びゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

ちゅ

びゅ

びゅ

ちゅ

ちゅ

びゅ



ひあ、あ、  
あああ…っ!?

こ、これ、母乳…!?  
私…っ!?

も、もう…っ、  
身体が…っ!!

くはは、  
良い格好だ  
なパチュリー?

すっかり  
受け入れ準備  
万全み  
たいだ  
な

う、あ…っ



スライムなんかじゃなく  
硬いチンポをその穴に  
ぶち込んで欲しくて  
たまらねえんだろ？

キッ

ビュッ  
ビュッ

ビュッ

ブル  
ブル

う、うる、  
うるさいっ!!

ブル

ムシッ  
ムシッ

ブル  
ブル

ブル  
ブル

そ、そんな、訳…っ

ある訳…っ、  
ないでしょ…っ

低俗な、お、  
お前たちなんかと…っ、  
私は、違うんだから…っ!!



この期に及んで  
まだ憎まれ口  
叩こうたあ  
大したもんだが

だ、ダメっ!!  
ム、ム、

あ、あっ!?

ひひひ、上の口は  
素直じゃ  
ねえからなあ

あっ!?

この数日間  
一時も休まずスライムに  
襲われ続けたそこは

下の口にて  
直接聞いて  
みるか



ひひ、こんなに  
糸引いて  
口パクパクさせて

あ、あっ ♡

オイオイ、  
後から後から  
蜜が溢れてくるぜ

下の口は  
正直だなく♪

じ、直に  
見られてるだけで  
私、感じて...??

身体が熱い...っ  
アソコが勝手に  
期待して、  
欲しがってる...っ

あ...っ ♡

一足お先に  
頂いちゃうか♪

ああ...っ ♡

あ、あ、ああ...っ ♡

ウソよっ、フルフル  
魔物なんか相手に  
私が...!!

フルフル

フルフル

フルフル

フル

フル

フルフル

ムッ

グキッ

トト

ムッ

ト

ト



そうら、  
よつと！

んあつ  
あつ♡

ひひ、トロットロに  
蕩けてやがる

ああああつ♡

何よつ、これ…っ!?

今までと、  
全然違う…っ!?

汁まみれのマン肉が  
チンポに絡み付いて  
気持ちいい♪

んっ♡  
あああつ♡

んっ♡  
んっ♡

んっ♡  
んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



そらっ、お望み通り奥を突いてやるぜ！

んあっ♡

あっ♡

ああああっ♡

ぐっ、ぐちよぐちよの中でっ♡

あ、熱くて硬いのとっ♡私、私の体重で子宮が押し潰されてえっ！！

そっ、そんなのっ♡あっ♡

の、望んでっ♡なんかあっ♡

なっ、ああああっ♡

ひび、本当か…

んっ♡

んっ♡

ぎゅっ

ぷっ♡

ぷっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

ぐっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡



なっ、と!

ぐんっ ♡  
ぐんっ ♡

ま、またっ!!  
頭が、真っ白にっ!!

ふうふうふうっ ♡

何も、  
考えられなくっ!!

ふうふうふうっ ♡

ハハハ、ちよつと  
強く奥を突いてやれば  
面白いくらい簡単に  
イっちゃうな

おん  
おん  
おん

M!!  
M!!  
M!!

ブ=ヤ!!!

魔物のチンポで  
よがるとかどんだけ  
好き者なんだよ  
淫乱パチユリー様♪

ち、ちがつ、  
あつ♡

こ、これはっ♡

あつ♡  
あのスライムの  
せいで...っ

ああつ♡

ひひ、そう言っても  
種付して欲しいって  
子宮が降りてきてるぜ、  
ほれほれ♪

あ、あつ♡

た、種付...っ!!







その恐ろしい言葉に  
今まで味わったことも無い  
快感に翻弄される私も  
流石に正気を取り戻した

あくこんな  
マンコで熱心に  
しゃぶられたら  
もう我慢出来ねえ

そうだ、こいつらは  
伊達や酔狂で私の股間に  
スライムを取りつけたんじゃない、  
それには明確な目的があつて！

もう出すぞ  
パチュリーツ！

あつ♡  
あつ♡!!

ダメっ!!

嫌あつ!!

それだけはあ…っ!!

ああつ♡

性刺激の強烈さに  
飛びそうになる意識を  
必死でこらえ  
私は最も恐ろしい事態を  
避けるため無我夢中で  
お尻を振つて  
なげなしの抵抗をして！



ひひ、腰使いやがって  
そんなに中出し欲しいか、  
オラアッ!

んぎっ♡  
ひいひいっ♡

うううううっ♡

なのになっ!!

嫌、嫌、嫌あぁっ!!!

すんごいおもしろいっ!!!

こんなダメなのでっ!!  
全身が悦んじやっつてっ!!!

頭がおかしくなるっ!!!

んうううううっ♡  
うううううっ♡

ぞしっ

ぞしっ

ギョッ  
ブルブル

ブル

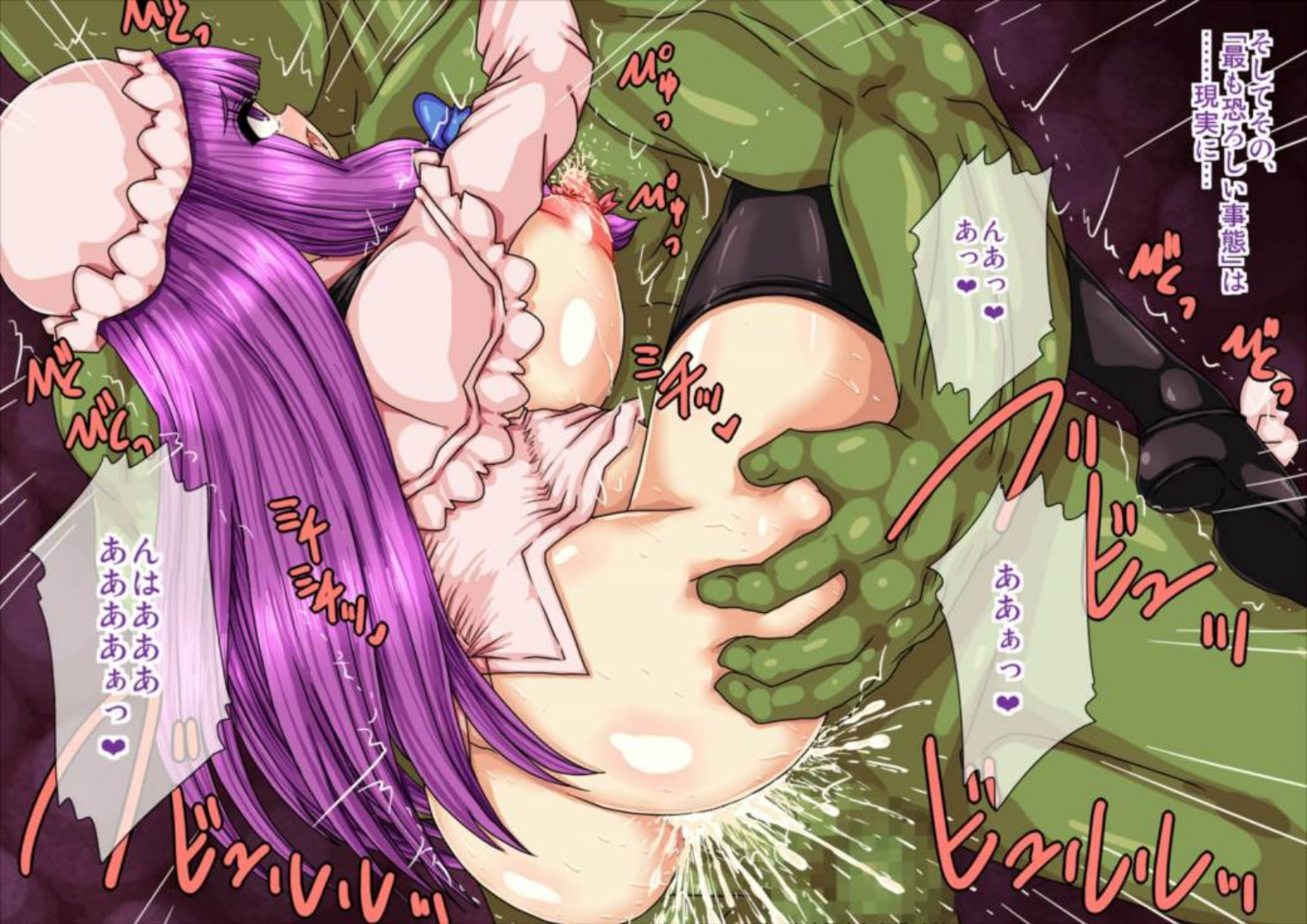
ブルブル

ビクッ

ギョッ  
ブルブル

ブルブル

そしてその「最も恐ろしい事態」は現実には



んあっ  
あっあっ

あああっ

んはあああ  
あああああ

んんんんん

びびびびびび

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん

んんんんん



あ、ああ……  
あ……♡

……や、や、や、や、や、や……

強烈な快感に流され、  
魔物に身体を好きなように  
蹂躪されてしまった私は  
現実を認めることが出来ず……

フーッ、  
出した出した

ザーメン出すなら  
パチュリーの  
マンコに限るな♪

オイオイ、何  
抜け駆けしてんだ

戻ってくるのが  
遅いと思つて  
見に来てみれば……

ただただ私のプライドが  
上る拒絶の言葉が  
頭の中を渦巻いていた……

あ……  
Piu Piu

Moo ♡

Moo ♡

ホテッ ♡

Moo ♡

Moo ♡

Moo ♡

Kou

Piu Piu Piu

Moo ♡  
Moo ♡

悪い悪い、  
パチュリー様が  
チンポ欲しがって  
仕方なくてよ♪

ね、パチュリー様？

あ、ああ…？

快感の余韻すら  
強烈すぎて  
思考が麻痺して、  
何言われてるのか  
頭に入らなくて…

あ…



へへ、そんな  
目の前でほんやり  
お口開けてられると  
上の口も犯したく  
なっちゃうな

ひひ、小さくて  
可愛い舌♪

んむうっ!!?

く、口の中まで、  
感じっ……!!!

上下左右  
余すところなく  
蹂躪してやるぜ♪

頭の後ろがつっ、  
びりびりする……っ!!

今日を皆楽しみに  
してたんだから  
早くしろよ

おう、  
今すぐ行く



ゆつくりと広間へ  
連れて行かれ、  
その間に興奮が収まった  
私に襲い掛かったのは  
強烈な羞恥心だった！

ふっ、くううっ♡

み、見るな！  
見るなあつ！

そんなじろじろ、  
み、見るんじや  
ないわよっ！！

逃げるチャンス自体は  
何度もあったはずなのに、  
この私がこんな無様な  
姿を晒すなんて…っ！！

恥ずかしすぎる…っ！！

ひひ、  
良い格好だな  
パチュリー？

すっかり  
立派なボテ腹に  
なっちやっ♪

圧倒的に格下の  
魔物に孕まされた  
気分はどうだ、  
ひひひひ

かああ、

アッ

アッ

ホッ

ホッ

ブルブル

ゴッ

ブル

ブル

ブルブル

さくして、  
パチュリー様の  
出産シヨ一の  
始まりだぜ！

やっ、そんなっ!!  
動いちやっ!!

そらっ、  
出てこいっ！

ん、んあっ!!  
あああっ♡

んあああああっ♡

どんなに恥ずかしくとも、  
その激感に翻弄され私は  
外間も無く身悶えてしまう...

ヒヒヒ、  
何気持ちよさそうに  
腰振ってるんすか♪





あゝっ♡  
あゝっ♡

あゝっ♡

ああああっ♡

ははは、  
産みながら  
イっちゃったぞ

悔しい！っ、  
こんな身体にされてっ、  
こんなコケにされてっ!!!

パチュリー様ほどの  
偉大な美少女魔法使いの  
出産シーンを拝める  
なんて感激だなく♪

ひひ、俺もう  
勃ってきたぜ

ただ悶えるだけしか  
出来ないなんて！っ!!!

っ♡♡



屈辱に打ち震えながらも  
私に許されたことは一時でも  
早く「そいつ」が私の中から  
出てくることを祈るだけだった

…ふ、ふうっ  
ふううっ ♡

ふうううっ ♡

で、出てくる瞬間… ♡

お、出てきた  
出てきた

アソコのお肉が一緒に  
引きずり出されてっ、  
た、たまらない…っ ♡

見たかよ今の  
パチュリー様の顔♪

魔物の子を産むのが  
たまらなく気持ちいいって  
顔だったぜ♪

ううううっ ♡



しかも恐ろしい行為はそれだけにとどまらず……

ギヒヒ、メスだメスの匂い……

あっ!?

こ、こらっ! やめ……っ

そ、それって……

ひひ、俺たちの種族は産まれた時からもうセックス出来るってお前ほど博識なら当然知ってるよな♪

こんな極上の女がすぐそこで股開いてたらそりゃ我慢なんて出来ねえよなあ?!

ブルブル

ムッ ガッ

グニッ

ブルブル

ブル

ブル

ムッ



ヒヒヒ、  
マンコだ  
だッ！

嫌あああッ！！

や、やめ、  
あああッ♡

じ、自分の中から  
出てきた相手にッ！！

そのまま、  
犯されるなんてッ！！

あああああッ♡

がはは、自分の  
産んだ魔物に  
犯される気分は  
どうだパチュリー？



こんなののでつ、  
こんなのので感じちゃ  
いけないのに……っ

ふうっ ♡

ふううっ ♡

い、いくっ ♡  
いくっ ♡  
いくっ ♡

いくううううっ ♡

ははは、こんなことされて  
絶頂するなんて  
淫乱すぎだろパチュリー

恥じらいってもんが  
ねえのかよ、がはは

……っ ♡  
……そんなの、恥ずかしいに  
決まってるでしょ……っ!!!

恥ずかしすぎて、  
出来ることならこのまま  
消えてしまいたいくらい……っ



でも私は、すぐさま  
そんな弱気なことを  
考えてしまったわ  
自分自身の方を恥じたわ

確かに：自分の身に  
降りかかるとは想像だに  
しなかつた事態に：  
それにあまりに無様な  
自分の反応に：

もう思考を放棄して：  
されるがままに  
流されてしまいたいと  
一瞬脳裏をよぎったけれど：

そんなの、  
負け犬の考え方だわ

私は大魔法使い  
パチュリィ・ノーレツジ  
なのだから！こんな  
下等な魔物たちに  
屈服していい筈がない

事態を打開できる可能性が  
1%でもあるのなら、  
この傲慢の頭脳でそれを  
現実になぐり寄せてみせる！

私は折れそうになる心を叱咤し、  
あくまで徹底抗戦すると誓った！



あつ!!  
ふへへ、それじゃ  
もう遠慮はいらねえな

これから順番に、  
俺ら全員で  
たっぶり種付して  
孕ませてやるから  
楽しみにしろよ  
パチュリー♪

た、楽しみになんて  
出来る訳ないでしょっ!!

ぜ、全員…っ

離しなさいっ!!

い、今離せば…、  
そう、今までのことは  
全て水に流して  
あげるからっ!!

お前たちだって  
命は惜しいでしょ、  
だから…っ

ブル

ブル

ブル  
ブル

きゃん

ブル

ブル



後ろ手に両腕捕まれて、  
マンコ突き出しながら  
よくそんな  
偉そうな口きけるな！

は、入って...っ♡

ふんっ♡  
ふうううっ♡

ははは、まだ  
そんなこと  
言ってるのかよ！

んひっ♡

ふひいっ♡

ふんっ♡

ふんっ♡

ふんっ♡

ふんっ♡





そらそらっ！  
何か出来るなら  
やってみるよ！

んあっ  
あああっ

ああああっ

こんな恰好で、  
マンコにチンポ  
突っ込まれながら  
何か出来るなら  
だけどな！

だ、ダメ！  
こんな激しく突かれたら...  
また、頭、真っ白に...

ああああっ



そんなにザーメン  
欲しいか、この  
淫乱魔女め!

い、嫌あつ♡

中はっ、  
だ、ダメ…っ、  
ああああああつ♡

ははは、マンコ  
ぎゅんぎゅん  
うねらせやがって!

グッ  
グッ  
グッ  
グッ

ビュッ♡

グッ♡

ガッ  
ガッ

ビュッ♡



ああすげえ  
搾り取られる！

ふふひっ♡

し、子宮が  
悦んじやってる…♡

頭が、痺れる…♡

また、この私があ…♡

ふー、出した  
出した…

ガッガッ

いらいらっ♡

ぞし

ガッガッ

ミキ

ハッ

グビッ  
ビッ

ミキ

ミキ

グッ♡



ちよつくら  
腹ボテセックスと  
いくかパチュリー様♪

だ、ダメっ♡

嫌あああっ♡

あああああっ♡

イッたばかりで、  
敏感なのに...っ!!

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

あああああっ♡

でもまだちよつと  
出したりないな♪

ひあっ!?



そろら、皆に  
腹ボテセックス  
してもらおうぜ！

あ、ああつ♡

んああつ♡

ははは、あんなに  
腹膨らませてんの  
マンコはあんなに  
美味そうに  
チンポしやぶって  
るぜ！

天才魔法使いがこんな  
ドスケベな姿晒すなんて、  
数日前は想像も出来なかつた  
よなあ、パチュリー♪

嫌あつ♡

見るなああつ♡

ああああつ♡

ML

ML

ML

ML

ML

ML

ML

ML

ML

ML



見るなじやない、  
見て下さいだろ  
パチユリーッ！

んはあああつ♡

い、嫌ああつ♡

あああああつ♡

ポテ腹揺らして  
快樂食つてるとこ  
見て下さいって  
言ってみろ！

こんなに激しく  
突き上げられたら...



おまんこ壊れる……

お腹の中の魔物と……つ、  
魔物のベニスで挟まれて  
おまんこ潰れちゃうわ……っ!!!

あ、あつ♡

あ、あつ♡

全く強情な奴だな  
パチユリーは!

まあそれでこそって  
穢し甲斐があるって  
ひひひっ!

あ、あつ♡



そらっ、  
またザーメン  
プレセントだ！

ふひっ  
ひっ

あんなエロい  
反応する女初めて  
見たぜ、ははは

ひううううっ

ははは、  
見るよアレ

母乳噴き出して  
噴水みてーだ

嫌、嫌...

私をいやらしい女みたいだ  
言うのはやめなさい

ううううっ

ムム

きん

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム





腹ボテセックスも  
どうやらすっかり  
気に入ってくれた  
みたいだな！

んあっ♡

きっ♡  
気に入って  
なんかああっ♡

ああああっ♡

はは、否定するなら  
その乳の噴水なんとか  
してからしろよ、はは

ああっ♡

ジューッ

フッ

フッ

ジュッ

ジュッ

グビッ

グビッ

グビッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

ガッ

よし今日は  
孕ませたら毎回  
腹ボテセックス  
してやろうぜ！

いいね、  
賛成♪

ひあっ♡  
そんなっ♡

あああああっ♡

この日はその後宣言通り、  
犯され、孕まされ、犯され、  
産まされ！

延々と背徳的な宴の  
メインディッシュとして  
食られ続けた！



その日以降も  
私は休む間もなく  
連日犯され続けた

ひひ、チンポ  
しゃぶってる  
マンコの締りが  
いいな♪

どんだけチンコ好き  
なんだよ、  
パチュリー「様」♪

順番を待ちきれなくなった  
魔物たちを、一度に複数相手に  
することも珍しくなく...

ああいいぞパチュリー、  
フェラも上手く  
なったじゃねえか！

んんんっ♡

んんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡

んんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡

んんんんっ♡



いいぞパチュリー、  
もつと喉奥使え!

また  
イっちゃったんすね  
パチュリー様♪

チンポ好きに  
なってくれて  
嬉しいですよ♪

んっ!!  
んんんっ♡

んんんっ!!  
んんんんっ!!

ば、馬鹿! つつ  
言ってるんじや  
ないわよつ!

んんんっ!!  
んんんんっ!!

んんんっ!!

好きだなんて...  
そんなこと  
ある訳ないでしょつ!!

おつ、乳  
噴いた♪

んんんっ♡

んんんっ♡



何言ってるか  
わかんねーなく

い、イってる乳首……♡

そんな  
弄られたらあ……♡

んんんうっ♡

でもまた何か  
反抗的なこと  
言ってる  
っぽいなあ？

身体はこんなに素直  
なんだけどなあ♪

きゃんんん  
きゃんんん♡

かん

かん

かん

ぐに  
ぐに

ぐに  
ぐに

んんん

んんん

んんん♡

んんん!!

きゃん

かん

かん

かん

かん

かん

かん

あくたまんねえ  
この爆乳

ギョウ  
ギョウ  
ギョウ

こき使われてた頃は  
視姦するしかなかった  
この爆乳を  
好きに出来るなんて  
今だに夢みてえだ

んうううううっ♡

ふううううっ♡

ギョウ  
ギョウ  
ギョウ

ふうううううんっ♡

ギョウ  
ギョウ  
ギョウ

だ、ダメ…っ♡  
そんな、強…っ♡  
揉んじや…っ♡



ふうふうっ  
ううっ♡

んうううっ♡  
うううううっ♡

うひよ、マン肉  
すげえ痙攣♪

はは、見ろよ  
すげえ濃い  
本気汁  
溢れてきたぜ

パチユリー様は  
乳を強く揉まれ  
ながらのセックスが  
お好きなようだよ♪

すげえ粘り気だぜ、  
全くエロい女だな！

言うな、言うなああ！！  
ううううっ♡



そんなに催促されちゃ、  
こっちももう堪んねえな！

んううっ♡

下と上の口で  
残さず飲み干せ！

大好きなザーメン  
注ぎ込んでやる！

嫌あああ...♡





ふり、  
気持ち  
良かったぜ

いつになっても  
パチュリーの口の中に  
ザーメン出す瞬間は  
最高の気分だ

おら、尿道の中に  
残ってる精液も  
残らず吸い出せ

んふ、ふあ、  
ふあひ…♡

ふづづ…♡

うう…♡



ひひひ、お口を精液便所に  
されてるパチュリー見てたら  
こっちまでヒートアップ  
しちゃったぜ

私は...いやらしい  
女じゃない...

私は、絶対、負けない！

お前もマンコ  
きゅんきゅん  
させて...

随分気持ち  
良かったみたいだな、  
パチュリー？

ふあ、あ、  
はひい...♡



それから…私は…

んむっ♡

んんっ♡

んちゅううっ♡

来る日も来る日も連日  
犯され、奉仕を強要され…

いつしか淫らな行為は…  
それが当然の日常になっていた



ほんの僅かな休息の時間以外、常に洞産のどこかで身体をこむ、食らわされては、次第に行為そのものに慣れてゆくのも自然なことだったと思うわ...

魔物に股を開くのも、魔物のペニスを啜るのも...

精神的な私的な問題はともかく、肉体的な抵抗感はない、薄れていった

でもそれは、あくまでこいつらを欺くため！

従順なせ、性奴隷を装って、きつとこいつらも油断し、脱出の機会が得られる筈！



断じて行為そのものを  
受け入れたとか、  
そういう訳じゃないっ！

ひひひ、随分  
素直になったな  
パチュリー？

そんなにチンポが  
美味いかよ？

：美味しい訳、  
ないでしょっ！

強制されてるから、  
仕方なく  
やってるだけよっ！

全く、上の口は  
相変わらず  
素直じゃねえなあ

自分も楽しんで  
じゃってる癖に♪

んうっ♡

ましてや  
楽しんでるなんて、  
そんなことはっ！



よし、他の種族の連中も呼んでどう見えるか確かめてもらおうぜ

いいねえ賛成♪

んんっ!!

は、はあっ!!? 何言ってるっ

俺たちだけでこの身体楽しむのも悪いしなく♪

極上の戦利品は見せびらかしたくなるものだよな、ひひひ

ふ、ふざけたこと言ってるんじゃないわよっ!!

人を見世物にしようだなんて...っ!!





お前は黙って腰振ってる!

チンポしごき用のメス穴の意見は訊いてねえんだよ!

悔しい、悔しい、悔しすぎる……!!!

うううっ

んうっ

ふううっ

んうううっ

んうううっ

んうううっ

んうううっ

んうううっ

んうううっ

ちよつと激しく  
突かれるだけで？  
反論すら出来なく  
なるなんて！っ！！

あゝ気持ちいい  
ほんと最高の穴だわ

これで無駄口  
叩かなければな

ひひ、俺は  
この生意気な  
所も好きだぜ

この生意気で  
プライドの高い  
お口が俺のチンポを  
しゃぶってるんだ、  
たまんねえ

んんんっ♡

んんんっ♡

んんんんんっ♡

んんんんっ♡

悔し...!!!







ううっ、マンユが  
チンポにしゃぶり  
ついて…っ、出るぞ！

んんんっ♡  
んんんううっ♡

私はっ、こいつらの  
オモチャなんかじゃ  
ないのに…っ!!!

ゴクッ♡  
ゴクッ♡

こっちもだっ、  
パチユリー残さず  
飲めよっ！

んんっ♡

ビュッ

ズルッ  
ズルッ

ムッ  
ムッ

ムッ  
ムッ

ふ、ふううう……っ♡

うううう……っ♡

これは……

よしじゃあ早速  
近所に棲んでる連中に  
宴会の報せ出すか

集まるまで暇つぶしに  
久しぶりのパチュリー様  
出産ショー見物というござ

これは、脱出のため……  
油断を誘うため……なんだから……

いいねえ♪

ふううう……っ♡

ふーっ、今日も  
良い具合だったぜ  
パチュリー様♪

また俺の子種で  
孕んじゃい  
ましたね、ひひひ



く...あつ!  
離しなさいっ!

嫌っ!!

おくおく今日も  
丸々と孕んじやっつゝ

あの穴が俺たちの仲間を  
増やしてるんだからな、  
生命の神秘だぜ、がはは

嫌あつ!!

性行為そのものと違って...  
情けない、淫らな姿を  
観察されるのは  
いまだに全然慣れない!



何が違うのか：  
自分でもはつきりとは  
分からないけれど：

私はっ！  
見世物じゃないって  
何度も言ってる  
でしょっ！！

見るなあっ！！

性欲に浮かされた目ではなく...  
好奇の目でまじまじと全身を  
舐め回すように眺められるのは、  
本当に恥ずかしくて、恥ずかしくて...

私の心の弱い部分が  
むくむくと頭を  
もたげてしまう！



み、見るな、あ、  
あ、ああああっ♡

お、出てきた

もうだいふ  
パチュリー様には  
仲間を増やすのに  
貢献して頂いたな♪

パチュリー相手なら  
何度でも孕ませて  
やりたくなるからな

もう俺は5回は  
孕ませたぜ

俺は10発だ、  
ひひひ

ほんと男を  
喜ばせるために  
生まれたような  
女だぜ♪

んああああっ♡

私はっ、知性ある  
魔法使いなんだっ

淫らな、娼婦のように  
言うなあああっ♡





パチユリーも  
何か悶えてるし、  
これはひよっとして？

ふんぎっ♡  
ふんぎっ♡

ひっ♡

おや、出てきたのに  
腹が膨らんだまままだな

ふひっ♡ふひっ♡

ふんぎっ♡  
ふんぎっ♡  
ふんぎっ♡

ガッ  
ガッ  
ガッ

M♡♡♡

M♡♡♡

M♡♡♡

くねっ  
くねっ



た、ただでさえっ♡  
内側からおまんこ  
めくられるの♡  
たまらないの♡

これもパチユリーが  
スケベだからに  
違いないぜ、ひび

あああっ♡  
あああああっ♡

あああああ  
あああああっ♡

れ、連続で  
なんてええっ♡

おっやっぱり  
双子かあ♪

俺らの種族だと  
かなり珍しいのにな

嫌あああああっ♡

あーやべ、  
こんなの見てたら  
我慢できなくな  
ってきたぜ

ああああっ

俺も

他の連中が来るまで  
まだ時間があるし、  
それまで出産ショーは  
種付大会に変更するか

賛成〜♪

魔性の快楽と  
羞恥心ですつかり  
自分を見失った私は  
犯されがままに  
犯されまくり！

宴会開始の時刻まで  
ひたすら犯され、  
孕まされ、産まされ、  
また犯され続けた！





そしてその宴会では  
更なる屈辱が待っていた！

キキキッ！  
すげえ本当に  
パチユリーだぜ！

ブルルッ

くっ、やめっ！

離れなさいっ！

まとわり  
つくなあっ！

マジで本物だ！  
信じられねえ！

プリッ

プリッ

フゥ

アレッ

クドッ

クニッ

スリ

スリ



キキツ、あのエリート  
魔法使いのパチュリーを、  
一体どうやったんだよ!?

ははは、まあ俺たちの  
手にかかれば魔女も  
こんなもんってことよ

すげええ!!  
これからも一生  
ついていきやす!  
キキツ!

くううううっ!!!

この私に、こんな  
雑魚モンスター  
の相手をさせるなんて……!!!

ブルルッ

ズン

アレッ

クニッ

スリ  
スリ

プリッ

プリッ

フゥ

いいいい加減に  
しないよ...ああっ!!?

ああ良い匂いだ  
たまんねえ!

ぱ、パチュリー  
マンコ!マンコ!

柔らかくて  
気持ち良くて、  
触ってるだけで  
射精しちゃいそうだ!

そ、そこっ♡  
触るなあっ!!

ヒヒッ!  
乳首もコリコリ  
しててたまんねえ!

んあっ♡  
ひ、引っ張る  
なあっ♡

あああっ♡



ヒヒッ、もう濡れてきたぜ!

そっ♡  
そんなはずは…っ!!

ウツ…っ、私、こんなのでまで感じて…っ!!

ヒヒヒッ!  
マンコ弄られるの  
そんなに気持ち  
いいのかよ?

次々溢れてくるぜく?

ブルッ

うあっ♡

ち、違うっ!  
これは…っ

これは、た、単なる生理的な反射よっ!  
刺激を和らげるため、だ、誰だっってこうなる!

だから…っ!!

こんなことで気持ち良くなつてしまっているだなんて、私自身が一番認めたくない…っ!!

くちゅ

ブル

くちゅくちゅ

ブルブル

ブルブル

ブル

なのになっ

えあっ!?

そーかい、そーかい、  
ヒヒッ、つまりもつと  
強い刺激が欲しい訳だな!

だ、誰も  
そんなこと  
言つて…っ

ひううううっ♡♡

ビクッ  
ビクッ

ビクッ

ふうううっ♡

ムムッ♡

ムムッ♡

ムムッ♡

ムムッ♡

ムムッ♡

う、ウツツ、  
拳が…っ!!!

すんなり…っ、  
入つて…っ♡

ハハハッ、  
マンコが手を  
飲みこんじまった!

マンコほじれば  
何でもいいのかよ  
この女!

ううううっ♡♡

ううううっ♡

ムムッ♡

ムムッ♡

ムムッ♡



あゝマンコの中  
あつたけえゝ♪

おつ、おまんこが…っ♡  
私の一番大事な場所が…っ♡

はあつ♡♡  
ああつ♡♡

あああつ♡

ああああつ♡

子宮  
にぎにぎっ

ガッ

ガッ  
ガッ

ガッ  
ガッ

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ

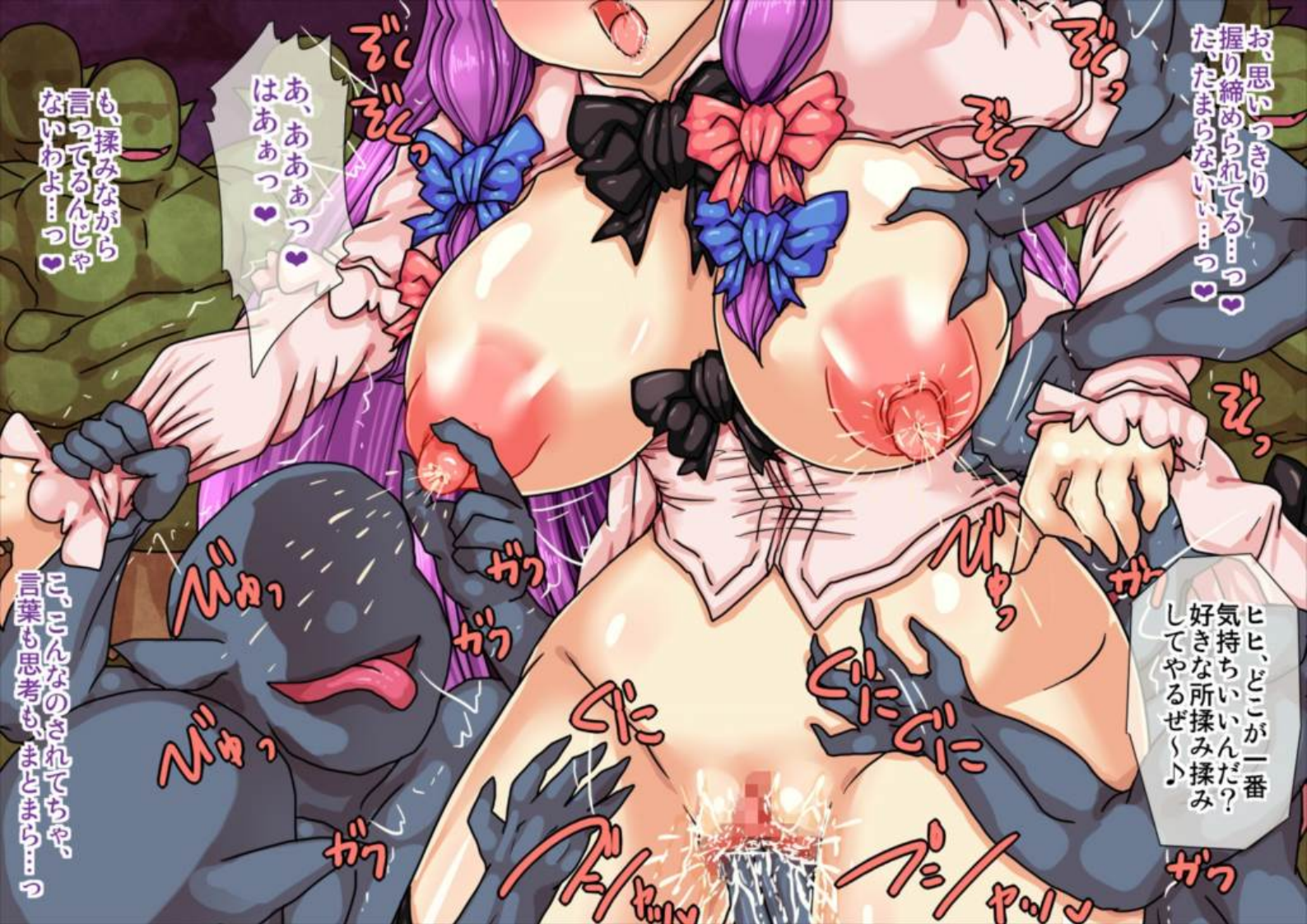
ちゅっ  
ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ  
ちゅっ





お、思いつきり  
握り締められてる……っ♡  
た、たまらない……っ♡

あ、あああっ♡  
はああっ♡

も、揉みながら  
言ってるんじや  
ないわよ……っ♡

ヒヒ、どこが一番  
気持ちいいんだ？  
好きな所揉み揉み  
してやるぜっ♪

こ、こんなのされてちゃ、  
言葉も思考も、まどまり……っ

びゅん

ガッ

びゅん

ガッ

びゅん

ガッ

ぐに

ぐに

ぐに

ぐに

ガッ

あ、ああつ  
ダメっ♡

ダメダメダメ  
だめえっ♡

あああああ  
あああああ♡

ハハッ!  
すげえ派手な  
いきっぶりだ!

あの魔女パチュリーが  
こんなことで悦ぶ  
変態だったなんて  
知らなかったぜ!

こんななら今まで  
怖がる必要なんて  
無かったな!





今回来れなかった  
連中にも教えて  
やろうぜ!

ははは、  
こいつらの  
ネットワークは  
すげえ広いからな

私が今まで築き上げて  
きたものが!

きっと明日には  
世界中の魔物が  
知ってるぜ、  
パチュリーが  
スケベな淫乱変態娘  
だってな!

恐ろしい勢いで、  
崩れ去っていく!

~~~~~  
♡♡♡





い、嫌っ！
やめなさいっ！

ダメっ！！

ヒヒヒ、あいつらに
マンコ開発されて今じゃ
どんな魔物の精子でも
孕めるらしいじゃねえか！

是非とも
試してみねえ
となあ！

ふ、ふざけたこと
言ってるんじゃないわよっ！！

み、身の程を
知りなさいっ！

嘘でしょ、こんな
雑魚にまで、こんな
私が目撃！！

ぐいっ

ぐいっ

ぐいっ

ブル
ブル

タッ



ヒヒヒッ、
頂きま〜す！

そんなことをしたら
どうなるか！
あつ、あつ♡

ひつ、人の
話をつ、あつ♡

あつ！！

嫌あつ！！

でも、
私の心と裏腹に、
身体は...

ムッ
グッ



ヒヒヒッ!
すげーいい具合だ!

あぁっ♡

んあっ♡

あぁっ♡

私の身体はもう、
どんな相手とのセックス
でも悦ぶようになってしまっている!

そのことを私は
こらえきれないほどの
快感で白む頭で、否応なく
自覚させられていた!

こんな気持ちいい
マンコ初めてだぜ!

あぁあっ♡



キキキッ!
ああく出るッ!

くうううう
ううううっ ♡

ふうううっ ♡

どうして、
どうして私の
身体は...っ!!!

こんなダメなので
悦んじやあって
いるのよ...っ!!!

んうううううんっ ♡

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル



キキッ♪
あく気持ち
良かった♪

…あ♡
ああ♡

ああああ…♡

私ほ…
私は…誇り高き魔女
パチユリ…クレーツツ…
なんだから…

負けちやダメ…
こんなのに、
流されちや…

キキッ♪
この女気持ちよすぎて
安心してやがるぜ!

こんなスケベな女
見たことねえぜ、
キキキッ♪

ああ…♡



キキッ、じゃあ高名な
魔女様のマンコから
俺らの仲間が
産まれるところを
眺めさせてもらうぜ！

い、勢いよく抜かれたら、
おまんこのひだ引きずり
出されて、意識が！っ

あ、あっ ♡

ふあっ ♡

あっ ♡



ふぐううっ♡

んうううっ♡

うっ、
産まれる…っ♡

さつきペニス
引き抜かれた時の快感が、
まだ残ってるのに…っ♡

キキッ!
出てきた出てきた!

気持ちよすぎて…っ♡
誇りや魂まで一緒に
引きずり出されてる
みたい…っ♡

こんな機会は
滅多にねえ!

今日はたっぷり
孕ませてやる
からなッ、
キキキキッ!

ううううううっ♡

ブル

ブル

ブル

ブル

ブル

カクカク

カクカク

ぞくぞく

ぞくぞく

キキッ

ブル

ブル

快感に飲まれては
いけない！

そう思えば思うほど、
下等な妖魔との性交で
快楽を覚えてしまっていることが
自分の中で否定できなくなる...

身体を許しているのは
あくまで脱出のため、
油断を誘うためのにっ

犯されるのは勿論
こんな手下への三喜褒美に
肉体を使われるなんて
嫌で嫌でたまらないに
決まってるのにっ

どうしてこんな
気持ちなのよっ



一通り参加者に犯され倒した後、
私は今度は宴の悪趣味な
余興に駆り出された

く……っ
うう……っ

はぁ
はぁ

プル
プル

はぁ

この……っ!!

げんご

プル
プル

プル
プル

プル

ぐい

ぐい

いハハハ、
いぞ頑張れ

まだ始まった
ばかりだ、慌てる
必要無いぞ

その余興とは……、
私が下級妖魔と
対決……
——対決中出しされずに
逃げる切れるか
賭けるというもの

自由になりたく
ないのかパチュリ、
もつと気合入れろ

プル
プル
プル

私がこの対決に勝つたら
自由にさせてやるなんて約束
嘘くさくて信じる気にも
ならないけれど！

こんな弱小妖魔一匹に
身体を許してやる
つもりも当然無い！っ！

ヒヒ、エ、
エロい身体ッ、
俺のだッ！

こ、この…っ、
さつきから、
うるさいわよっ

ましてや
お前なんかの
物でも…っ！

でもこの調子なら、
これ以上の行為は
されずに耐えられそう！

さつきから、
妖魔のペニス
先端が私の入り口に
ちぢちぢら当たって、
その度に力が
抜けそうになる！

は
私はい、いやらしく
なんかないしっ！

はあ
はあ

プル
プル

げんご

プル
プル

プル
プル

プル

じい

じい

プル

プル

そう、思っ
いたのだけれどー

ヒヒッ、
もう前戯は十分
だなあッ?

えっ、あつ!!

いただき
まくすッ!

ウソっ、
あああああっ♡

ハハハ、
ようやく
準備出来たか

あいつは挿入前に
スマタで女のマンコ
濡らすの好きだからなあ♪

日つまり、さっきまでののは
単なる下さしらせ
だったってこと...っ!?

そんな...っ



真面目に、挿入されずに
済むかも、なんて！

思ってた私は、完全に
道化じゃない！っ！

ふっ、ぐううっ ♡

うううっ ♡

そらどうした
パチュリー、早く
抜け出さないと

このままじゃ
中出しされ
ちゃうぞく

んうううっ ♡

わ、分かってるわよ
そんなこと、でも…っ

ペニスでヴァ、ヴァギナを
ぐりぐりされると、
力が、全然入らなく…っ



キキキキッ♪

んはあああつ♡

ダメツ、
激し…っ♡

ああああつ♡

相変わらず合腰
打ってるように
しか見えねえな♪

おいおい、
パチユリー様
あれで抵抗して
るつもりか？(笑)

このままじゃ、
このままじゃ…っ♡

やあああつ♡



ひんぎつ
いっ♡
いっ♡

ありあり、
パチュリー様
負けちゃった

本当に約束通り、
解放してやるつもり
だったのになあ(笑)

ところでパチュリーが
勝つのに賭けてた奴とか
いるのか？



いる訳ないぜ、
確かに魔法無しでも
普通の女なら
雑魚一匹くらい
ひよつとしたら
倒せるかもだけだよ

パチユリー様は
ちよつと触られただけで
マンコ濡らして何も
出来なくなる普通じゃない
淫乱メス奴隷だからな♪

ははは、
確かに

無抵抗同然に
犯されてるのは
脱出の機会を窺うため
という...

悔しい！っ
でもこんな有様じゃ
何も言い返せない！っ

私のプライドの、
最後のよりどころすらも
奪われていたのだから！

んうううううっ♡



それから...

キキキキッ!
俺のだ俺のだッ!

んあっ♡

あいつついつまで
腰振ってんだ?

ああっ♡

おい見るよ、
パイツの間にかまた
孕んじやってるぜ

ああああっ♡

本当だ、
ボテ腹パチュリー
見慣れすぎて
気付かなかったな、
はははは

その後も私は宴が
終わるまで何度も
気を失うほどイカされ続けた



魔物たちは戦利品として私を自慢し、自分たちの力を誇示するため、その後、近隣に住む様々な妖魔たちを呼び寄せ宴会を開いた

中でも強烈だったのが、巨人の妖魔の相手をさせられた時で！

く...っ、は、離せっ

離しなさいっ！

じたばた

ぐひひひ...、可愛いなあ

オラは可愛いメスをこうして捕まえて、お人形遊びするのが大好きなんだなあ

くうっ、わ、私は玩具なんかじゃ...っ

じたばた

グリッ

とじっ

とじっ
とじっ

アゲッ

アゲッ

アゲッ

ぐいっ

ぐいっ



ぐひひ、
中でもコレは
極上のお人形さん
なんだなあ♪

そいつは俺たちの
奴隷だからな、
今は好きにしてい
持って帰るのはダメだ

出来ることなら
エッチなポーズさせ
オラの棲家にずっと
飾っていたいなあ

ぐひ、残念だけど
分かっているんだなあ、
犯すだけで我慢
するんだなあ

か、勝手な
ことを…っ！

ほ、本人無視して
好き放題言ってるんじや、
ないわよっ！

マン汁のよだれ
垂れてきてるぜ、
実は期待してんだろ

マンコひくひく
させながら
何言ってるやがる

そ、そんな
こと…っ！



じゃあ早速
挿入しちゃう
んだなあ♪

ゴッ

はっ、あっ!!

じよ、
冗談でしょ!?

こんなの、は、
入る訳ない
じゃないっ!

ムムッ

ゴッ

ムムッ

ムムッ

はは、確かに
パチユリ様は
いやらしい身体
の割に
マンコはちっちゃくて
キツキツだからなあ(笑)

ムムッ

「ちゅっ」

ムムッ

わ、笑いごと
じゃ...っ!



ぐひひ、大丈夫
大丈夫

んあつ
あつ♡♡

くちゅ
くちゅ

オラの先走り汁にも
女の身体をやわっこく
ほぐす効果があるんだな

ああつ♡

だ、大丈夫なつ、
あつ♡
わ、訳ないでしょつ、
あ、あつ♡

ぐひ、こんなにマン汁溢れて
マンコの方もオラのチンポを
欲しがってるんだな♪

これはつ、こ、こんなに
入口クチュクチュ
されたら、誰だって…つ、
あああつ♡





ごちゃごちゃ
うるさいんだなあ〜♪

お、大き、すぎ…っ!!!

子宮っ、
押し潰されて…っ!!!

おまんこ
壊れちゃうっ…っ!!!

んぎっ!!?
ひっ♡

んぎっ♡

ひぎ
いいいいいいっ♡

グ
グ
グ

グ
グ
グ

グ
グ
グ



…あ、ああ ♡

あがあ… ♡

おおすげえ、
入った入った

あ… ♡

私の中が… ♡
隙間無く埋められて… ♡

ムク、

ムク、

ムク、

ガッ

今まで散々翫って
開発してやったとは言え
あんなのよく入るな

ガッ
ガッ

ムク、

ムク、

マンコ
すげー伸びてる、
おもしれー ♡

あ…、あ… ♡

ガッ
ガッ

ギョッ
ギョッ

ガッ
ガッ

たまらなから… ♡

ぐひひひ、
極上の女をオナホに
する瞬間はいつも凄く
気持ちいいんだなあ〜♪

んあつ!!!
ああつ♡

あああああ
あああああ♡

やつ!!!
動いちゃっ♡

私が壊れちゃうっ♡

ゴッ、壊れるっ♡





あああつ♡
あああつ♡
あああつ♡

頭がっ♡
快感でおかしく
なってるのが分かる♡

あああつ♡
あああつ♡

気持ちよすぎてっ♡
頭バカになってるっ♡

あああああ♡
あああああ♡

こんなに無茶苦茶
されてるのにっ!!!♡

ぐひっ、そんなに
マンコ締められたら...

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ぐひひっ、
もう出ちゃう
んだなあ〜ッ!

あああっ ♡

んはああああ
あああああっ ♡

うおっ、すげえ
母乳の噴水

あんなんで
感じるのかよ、
パチュリー様好き者
すぎるだろ(笑)

まあ俺はそんな
所も大好きだぜ♪

俺もだ♪



…あが、あ、
あああ…♡

うひょー、マン肉
引きずり出されて
子宮口まで丸見えに
なってるぜ

随分と良い格好に
なっちゃいましたね
パチュリー様♪

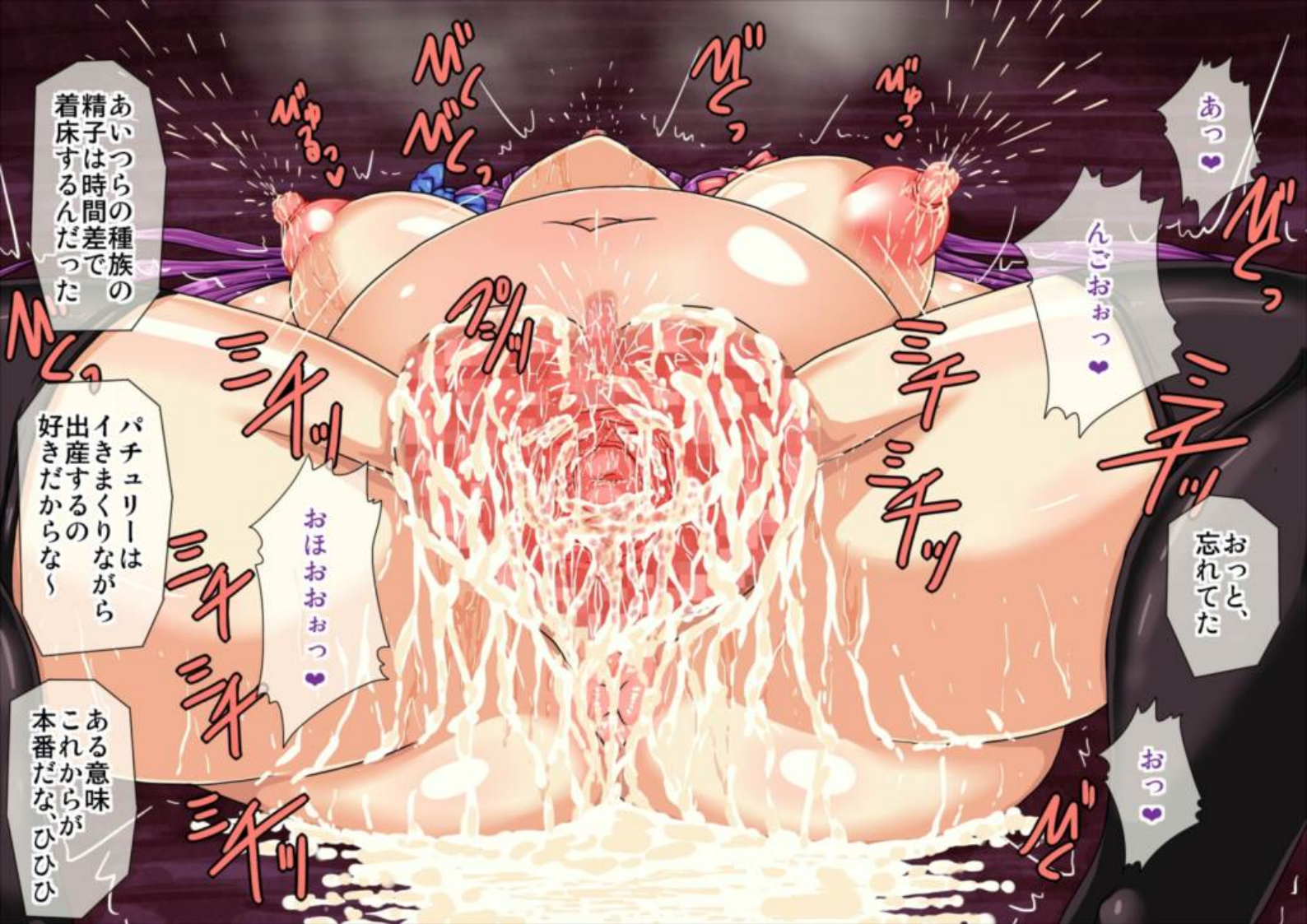
俺らが突っ込む時は
妖力で回復させて
やればいいが、
しばらくこのままで
生活させるのも
面白そうだな♪

こんな大穴
股間に空いてて
生活できるのかよ、
はははは

…あが…っ♡

あ…♡





あいつらの種族の
精子は時間差で
着床するんだった

パチュリーは
いきまくりながら
出産するの
好きだからなく

ある意味
これだから
本番だな、ひひひ

おほおおおっ♡

んごおおっ♡

あっ♡

おっと、
忘れてた

おっ♡

ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ
ムッ
ムッ



ぞんぞん

さっ♡
ゴツゴツ
子宮の中で
動いてる♡
のが

あいつらの種族は
産まれる時から
結構ゴツイからなく

ブルブル

ガッガッ

ブルブル

ムッ♡

ムッ♡

ムッ♡

ムッ♡

ふうふう♡

ひっ♡
ひっ♡

ひっ♡
ひっ♡

ははは、
パチュリー様
頑張れ頑張れ♪

ひっ♡

お、子宮口が
ひくひく動いて...

ガッガッ

ブルブル



キュウウウ

おほおおおっ ♡

んほおおっ ♡ ♡

お、おおっ ♡

ちょうど引つ張りやすいデッパリあるしな

マンコ引つ張って出やすくしてやるか

ヤッ

ギョウ

ムッ

ムッ

ムッ

ムッ

ビクッ

ビクッ

ムッ



おいおい、そんなに
マンコ締めたら却って
出てこれないだろう

そ、こおおおっ
んおおおっ

お、おほおおっ

パチユリー様
もつと力緩めて♪

しょうがねえな
もつと引つ張るか

しよっ
しよんなこと
ひわれてもおっ

んほおおおっ

おほっ

グッ
グッ
グッ

ガッ

ガッ
ガッ

ギョッ
ギョッ

ギョッ
ギョッ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ビクッ
ビクッ

ガッ
ガッ
ガッ



そんな宴は連日続き...

やってきた妖魔たちが他の連中に他の種族にまで私の醜態を面白おかしく伝えてしまっ...

私の威光は地に落ちてしまったわ...

知識と魔法の代名詞だった私の名は今や魔物たちの繁殖奴隷の名として広く知られて...

私の飼主たちの元にはひっそりなしに私を犯し、孕ませることを頼みに客が来る始末...

そして...





「カチカチ」

…あ♡

いっつもの頃からか
魔物の奥深くへ
洞窟の奥深くへ
人前に出すこと
少なくないです

…はあ♡
はあ、はあ♡

ガク

アッ

フリンフリン

ポク

フリン

ああ…♡

ポク

ポク

それは、
私が脱出するのを
恐れたから！

ようパチュリー、
今日も犯しに
来てやったぜ

あひんっ♡

相変わらず
物欲しげな
良いケツしてんな♪

要は、魔物たちは
自分たちの権勢は十分に
知れ渡つたとして、
勿体ぶるようになった訳！

ここの洞窟にあれば
強力的な魔女である私を
犯し放題という話が
妖魔たちの間で広まりすぎて
来客が多すぎる状態に
なつていたから！

…わ、私は
物欲しく
なんて…っ♡



ん？
その割にやマン汁
次から次へと
溢れてくるぞ？

そ、それは…あつ♡

ひひ、直接
触ってもいないのに
どうしてこんなに
トロットロなんだよ？

ほれおねだり
してみる、
チンポ突っ込んで
下さいつてな

だ、誰が…っ♡

わ、私はまだ
反撃を諦めた
訳じゃ…っ♡



全く上の口は
本当に素直じや
ねえなく

あああつ♡

…あつ♡

でも挿入しちゃう♪

お前にや
おあずけよりも
徹底的にチンポの良さ
分からせてやった方が
効果的だからな♪

あああつ♡

久しぶりのちんぽが
入って！っ♡



ほれほれどうだ、
お前の大好きな
チンポだぞ〜？

んあつ
あつ♡

わっ♡
わた…ひっ♡

負け…なひいんっ♡

あああつ♡

こいつは
おあずけはしないって
言ってるけど…！っ♡

んあつ♡

一日百人近くの相手を
させられていた頃と比べると
今の生活は十分おあずけ
されてるも同然で…！っ♡

私の本心と違って
身体は素直にたまらなく
感じさせられちゃう…！っ♡

あひいっ♡

んあつ♡
んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡

んあつ♡



そうあくまで私の
本心は……っ♡

ははは、まだ
そんなこと
言ってるのかよ

ふあっ♡

お前自分が
どんな顔してるか
分かってんのか？

ほれっ、
今日は鏡持って
きてやったぜ、
見てみるよ！

ふああっ♡

どう
これ……っ
私……っ？

はっ
はっ
こんなだらしなく
緩んだ顔が……っ♡
あっ♡



本心...

んああおっ
おおっ

おっ、何だ
マンコの締りが
一段と良くなったな

自分のひで、顔見て
興奮したのか、
マゾメスめ!

んおおっ

そうか、本当の「本心」が
分かってなかったのは
私だけだったんだ...っ

おほおおっ

自身の...
その表情を見た瞬間、
私は全てを悟ってしまった!

挿入が待てる間、
いざハメられると、
蕩けた顔をする女の
他人から見たら明らか
が、
尻を振り、
こんなんて
本心な
だっ...っ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ガッ

ガッ

ガッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

ブルッ

そらそらっ!
自分がどういう女か
言ってみろ!

ザイメン子宮に
お願いしますってな!

ずっと最初から
感じ続けてた!っ♡

んほおおっ♡

この気持ちについて
感情こそが
私の本心だっただんだ!っ♡

ざっ、ザイメンっ♡
ザイメン
お願いしますっ♡

おほおっ♡

このいやらしい
スケベなパチュリーの
子宮にいつ♡

注いで
くださいっ♡

言っちゃった!っ♡
認めちゃったあ!っ♡

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ

ぞっぞっ



ふりつ、
今日も良い
具合だったぜ
パチユリー

もっとして
下さい...っ♡

何だ、急に素直に
しおらしく
なったじゃねえか？

あ...ああ♡

もももも...♡

屈服を認め、愛玩を乞うことは抵抗は驚くほど無かつたわ、パール

さっきまでの威勢はどうした、ん？

ご、ごめんなさい……私、謝りますから……

それも当然よね……大魔法使いパチユリーノールがまだ存在していると……

もっとほじってえ……

私以外の世界中の全では、ここに居るのが単なる性奴隷のメスだつて……





意地を張る相手なんて、どこにもいなかったんだ！っ♡

よし、お望み通りほじってやるよ

ただしさっきから弄って欲しそうにヒクついでるケツ穴の方をな！

んほっ♡
おとおおっ♡

な、何これえ…っ♡

おほおおっ♡

ま、まだっ♡

知らない快樂があつたなんてえ…っ♡

ドヂュッ

ズッヂュッ

ガッガッ

ガッガッ

ムッ

ムッ

ムッ
ムッ
ムッ

アッ

ムッ
ムッ
ムッ

ムッ

ポル
ポル
ポル



はははっ、
やっぱりケツ穴でも
感じるみたいだな！

も、もっとな♡
気持ちいいこと
沢山教えて下さいっ♡

わたひっ♡
立派な性奴隷になるよう
頑張りますからあつ♡

全くお前は
最高のメス奴隷だぜ
パチユリーッ！

んおっ♡

おおっ♡

おおおっ♡

あひいっ♡



ひひっ、
勉強熱心なのは
良いことだ…な！

あひっ♡

んはあああああ
あああああ♡

ずっと
目を逸らしてた…

自分の欲望に
正直になることが、
こんなに分かるの
良いことだったなんて
知らなかった…♡

色々仕込んで
やるから
パチュリー♪

私 もう以前の
私には戻れない…
戻りたくないっ♡

あああっ♡

はっはっ…♡



それから私は、
三ツ主人様たちに
沢山の気持ちの良いことを
教えてもらいました！♡

今にして思えば、私の
知識の魔女なんて呼び名も
大げさすぎて滑稽だったわね！

だって以前の私は、
こんなにも恥ずかしいことや
跪くことが気持ちイイなんて
全く知らなかったのだから！♡

もっと気持ち良い
ことを知りたい！！♡

その「心で、私は
三ツ主人様たちに
要求されることは
本当に何でもしました！♡

：咲夜つ、
パチエはまだ
見つからないのっ!?

：で、今日は
ご主人様が紅魔館で
エッチがしたいと
言い出したので
久しぶりに
帰ってきています♡

ソファも
フカフカだ、
気に入ったぜ

も、申し訳
ありませんお嬢様っ、
館の人手を総動員して
全力で捜索して
いるのですが…っ

あ、あっ♡
喜んでもらえて
嬉しいですっ♡

流石は強力な
吸血鬼の館だ、
調度品も良いもの
使ってんなく

館の者に
気付かれないよう、
超強力な隠蔽の
魔法をかけた上で…

ふあっ♡



そう、あの後私たちは洞窟を出て様々な場所でエッチをし続けて！♡

呪いの魔晶石の影響範囲から出て十分な時間が経ち、もう私の魔力は完全に回復してました！♡

掃除も行き届いてピツカピカだ

こんな綺麗な館でならいつもの倍は出せそうだけパチユリー♪

あ、はっ♡

楽しみですう…っ♡
あああっ♡

そして今じゃご主人様にエッチしてもらうために、ご主人様の命令に應えるために、その力を使っている訳！♡

むぎゅっ

ブルブル

ぐにゅ

グニョグニョ

…声を荒げて
ごめんないね
咲夜…

でもパチエは
私の一番の
親友なの…

何としてでも
見つけて、無事に
連れ戻して…
お願い…

…はっ、お嬢様、
この咲夜、
命に代えても…っ

何かお前の話
してるみたいだな
パチユリー？

随分心配されてる
みたいだぜ？

ははは、
仕方のねえな
欲しがりだな
お前は♪

もっろ
ほじつれえっ♡

そ、そこおっ♡
イイっ♡

ひわな
ひれっ、
あ、あっ♡

ふあっ♡
ああっ♡

ちゅるん
ちゅるん
ちゅるん

ちゅるん

ぐり
ぐり
ぐり

がが

ほじ
ほじ
ほじ

ほじ

がが

がが

がが

がが

がが

がが

色々試したが
今日は今までの中でも
一段と締りが良いな

お友達の目の前で
マンコとケツ穴
ほじられるのそんなに
気持ちいいか？

はは、舌しゃぶられ
ながらじゃ何言って
るのか分かんねえな

いつ、イひいつ♡

全く、あつちは
あんなに深刻そうな
顔してるのに、
心配し甲斐の無い
メスだなお前は♪

らっれえっ♡
きもひひん♡
らもんうっ♡

しゅごくっ♡
ひいつ♡
れすうっ♡

ふああっ♡

んううっ♡

ぎゅっ
ぎゅっ

ぢゅる
ぢゅる

ぎゅっ

ぎゅっ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

ぐにゅ

おっと、そろそろ
出てきそう
だな...っと!

ん、ほっ
おっ♡♡

おほおおお
おおおお
おっ♡

ありあり、そんなに
乳撒き散らしたら
後で掃除する人が
大変だな(笑)



快樂のために
全てを捧げることが
こんな素敵なこと
だったなんて！っ♡

しかしこの館
お前以外にも
美女や美少女
だらけだなく

お前の魔法で
こいつらも全員
奴隷にしてくれよ、
出来るだろ？

はっ、
はひいっ♡

やります、
何でもやります
からあっ♡

もっとズコバコ
してえええっ♡

ふああああっ♡

私、今とつても
幸せですっ♡

